

# SYLLABUS

## 講義要項

2025

くすり・調剤事務科



学校法人 川口学園

早稲田速記医療福祉専門学校

# 目 次

## 利用の手引き

くすり・調剤事務科	1年生.....	1
くすり・調剤事務科	2年生.....	31

# 利用の手引き

この『講義要項』は、早稲田速記医療福祉専門学校の2025年度の授業科目について、講義の内容をあらかじめ示したものです。皆さんは、これに従って自分の履修する授業科目について詳しく知ることができます。

以下に授業科目の各項目を読むにあたっての留意点を示しますので、よく参照のうえ、この『講義要項』を十分に活用してください。

## 【基本情報】

基本情報欄は、授業科目の属性（科目区分）を記載する欄であり、次の項目についてカリキュラムに明記されている授業科目の属性を記載しています。

科目名	①		担当教員		②		単位数	③	
対象学科	④		学年	⑤年	授業形態	⑥	法令等指定	⑦	
履修方法	⑧	科目内容	⑨	授業期間	⑩	授業期	⑪	卒業要件	⑫
実務経験教員	⑬	実務経験内容	⑭						

記載項目	記載事項
①科目名	カリキュラムに記載されている授業科目名
②担当教員	授業科目の担当教員名（同一の授業を複数の教員が担当する場合は連名併記）
③単位数	カリキュラムに記載されている授業科目の単位数
④対象学科	その授業を実施する学科名（同一の授業科目を複数の学科で実施する場合は併記せず、それぞれ別に作成）
⑤学年	カリキュラムに記載されている授業科目の実施学年
⑥授業形態	カリキュラムに記載されている授業科目の授業形態（講義、演習、実技、実習など）
⑦法令等指定	カリキュラムに法令等による資格取得に関わる授業科目とある場合は○印を記入
⑧履修方法	カリキュラムに記載されている履修方法による科目区分（登録指定科目、選択科目）
⑨科目内容	カリキュラムに記載されている科目内容による登録指定科目の科目区分（基礎科目、専門科目、関連科目）
⑩授業期間	カリキュラムに記載されている授業期間による科目区分（半期、通年、集中）
⑪授業期	その授業科目を開講する授業期（前期、後期）
⑫卒業要件	カリキュラムに単位取得が卒業要件となっている科目の場合は○印を記入
⑬実務経験教員	実務経験のある教員による授業科目の場合は○印を記入
⑭実務経験内容	実務経験のある教員が経験した実務内容と、その経験を生かして行う教育内容

### 【位置付け】

その授業科目が、学校・学科の教育目的・目標とどのように関連しているのか、カリキュラムの中でどのような位置付けを与えられ、何を期待されているのかを記載しています。

### 【授業の目的】

授業の目的欄は、担当教員はその授業の分野、テーマにおいて何をポイントとして、何を伝えたいか、授業の目的は何かを記載しています。

### 【授業の到達目標】

その授業の終了時点で学生はどのような知識、技能などを得られるのか、何ができるようになっていくのか。そのような到達目標を記載しています。

### 【成績評価の方法】

成績評価の項目とその評価割合が記載されています。

※出席状況については学則第27条により、一部の実習科目を除き、評価割合に関わらず、出席時間数が授業時間数の2/3以上なければ評価の対象になりません。

### 【成績評価に関するコメント】

設定した成績評価項目と授業の到達目標との関連、具体的な評価項目の実施内容・実施方法、その他に特殊な出席の取扱いなどを記載しています。

### 【学生へのメッセージ】

担当教員から、授業への取組み方や授業を進めるに際してお願いしたいことを記載しています。

### 【テキスト】

授業に使用するもので、受講者全員が所持すべきものを記載しています。

### 【参考図書・資料・参考ホームページ】

授業の参考として学生が各自の判断で入手するものを記載しています。

### 【授業計画】

目標に到達するための授業の内容、進め方（方法）を各授業の回毎に具体的に記載しています。

く す り ・ 調 剤 事 務 科      1 年 生

くすり・調剤事務科 2025年度生カリキュラム

科目区分		科目名	授業形態	1年次		2年次		合計		
履修方法	科目内容			単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	
登録指定科目	基礎科目	社会人基礎	講義	4	60			4	60	
		パソコン演習Ⅰ	演習	2	30			2	30	
		パソコン演習Ⅱ	演習	2	30			2	30	
		パソコン演習Ⅲ	演習			2	30	2	30	
		パソコン演習Ⅳ	演習			2	30	2	30	
		サービス接遇Ⅰ	講義	2	30			2	30	
		サービス接遇Ⅱ	講義	2	30			2	30	
		キャリアデザインⅠ	演習	2	30			2	30	
		キャリアデザインⅡ	演習	2	30			2	30	
		キャリアデザインⅢ	演習			2	30	2	30	
	専門科目	医薬品基礎と安全対策	講義	4	60			4	60	
		人体の構造	講義	4	60			4	60	
		医薬品の作用Ⅰ	講義	2	30			2	30	
		医薬品の作用Ⅱ	講義	2	30			2	30	
		医薬品の作用Ⅲ	講義	2	30			2	30	
		医薬品関係法規	講義	4	60			4	60	
		医薬品応用	演習	2	30			2	30	
		登録販売者試験対策講座	演習	6	90			6	90	
		OTC薬の応対Ⅰ	講義	2	30			2	30	
		OTC薬の応対Ⅱ	講義			2	30	2	30	
		OTC薬の応対Ⅲ	講義			2	30	2	30	
		健康食品の知識Ⅰ	講義			2	30	2	30	
		健康食品の知識Ⅱ	講義			2	30	2	30	
		調剤事務	講義			6	90	6	90	
		病気とヘルスケア	講義	4	60			4	60	
		漢方の知識	講義	2	30			2	30	
		販売士の知識Ⅰ	講義			4	60	4	60	
		販売士の知識Ⅱ	講義			2	30	2	30	
		薬局・薬店実習	実習			1	30	1	30	
		メイクアップ実技基礎Ⅰ	演習	2	30			2	30	
		メイクアップ実技基礎Ⅱ	演習	4	60			4	60	
		メイクアップ実技応用	演習			4	60	4	60	
		美容知識	講義	4	60			4	60	
		化粧品の成分学	演習			2	30	2	30	
		関連科目	手話Ⅰ	演習			2	30	2	30
			手話Ⅱ	演習			2	30	2	30
現場で使える外国語	演習				2	30	2	30		
POP広告デザイン演習Ⅰ	演習		2	30			2	30		
POP広告デザイン演習Ⅱ	演習				2	30	2	30		
売り場のグラフィックデザイン演習	演習				2	30	2	30		
介護保険制度の仕組みと流れ	演習				4	60	4	60		
介護レクリエーション演習	演習				2	30	2	30		
病院の仕組みと流れ	講義				4	60	4	60		
合計					62	930	53	810	115	1,740

※くすり・調剤事務科の卒業には、修業年限以上在学し、1700時間相当の単位数の修得が必要

科目名	社会人基礎			担当教員	清水 之雅		単位数	4
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<b>□位置付け</b> SPIの解き方や考え方を学ぶとともに、ニュース時事能力検定の取得を通して時事力を身に付けるなど、就職活動に対応ができる科目である。								
<b>□授業の目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SPIの基本知識と解き方をマスターし、希望する企業の採用試験を突破する力を養う。</li> <li>・ニュース時事能力検定の取得を通じて、社会人として必要な時事力を身に付ける。</li> <li>・セルフメディケーションアワードに向けた作品制作を通じて、文章作成能力を養う。</li> </ul>								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SPI総合検査を突破する力の獲得。</li> <li>・ニュース時事能力検定3級の取得。</li> <li>・セルフメディケーションアワードへの作品応募。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				30	・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。 ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。 ・レポートは、小論文の提出により評価します。 ・試験はテキストを中心とした範囲で出題します。			
試験等	提出物							
	レポート		20					
	随時試験		20					
	定期試験							
	平常の授業状況（授業態度）		30					
その他（ ）					<b>□学生へのメッセージ</b>			
合計				100%	就職活動に向けた基礎力を身に付ける科目です。			
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
・2026年度版 SPI3をひとつひとつわかりやすく。 ・2024年度版 ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」基礎編（3・4級対応）								

### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ニュース時事能力検定①	ニュース時事能力検定 3級対策
2	ニュース時事能力検定②	〃
3	ニュース時事能力検定③	〃
4	ニュース時事能力検定④	〃
5	ニュース時事能力検定⑤	〃
6	ニュース時事能力検定⑥	〃
7	ニュース時事能力検定⑦	〃
8	ニュース時事能力検定⑧	〃
9	ニュース時事能力検定⑨	〃
10	ニュース時事能力検定⑩	〃
11	ニュース時事能力検定⑪	〃
12	ニュース時事能力検定⑫	〃
13	SPI非言語分野①	つるかめ算/年齢算
14	SPI非言語分野②	損益計算
15	SPI非言語分野③	速さ/濃さ

回数	テーマ	授業の内容、進め方
16	SPI 非言語分野④	仕事算
17	SPI 非言語分野⑤	場合の数
18	SPI 非言語分野⑥	確率／集合
19	SPI 非言語分野⑦	推論／表やグラフの読み取り
20	SPI 非言語分野⑧	N進法／数列
21	SPI 言語分野①	語句の意味／熟語の成り立ち／同音異義語
22	SPI 言語分野②	語句の用法／二語関係／空欄補充／並べ替え
23	SPI 言語分野③	長文読解
24	随時試験	SPI 総合問題
25	セルフメディケーションアワード①	文章作成能力を身に付けるための小論文制作
26	セルフメディケーションアワード②	〃
27	セルフメディケーションアワード③	〃
28	セルフメディケーションアワード④	〃
29	セルフメディケーションアワード⑤	〃
30	セルフメディケーションアワード⑥	〃

科目名	パソコン演習 I			担当教員	江畑 里絵		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	システムエンジニアとして5年間システム開発会社に勤務。顧客へのシステム導入経験をもとにシステム活用に必要な知識を丁寧に指導していく。					
<b>□位置付け</b> 社会人として必要なマイクロソフトオフィスアプリケーションに関する知識を学び、活用することで実践的な技術を身につける科目である。								
<b>□授業の目的</b> 社会人基礎力としてのパソコンの活用方法を習得し、社会人になった際、職場のコンピュータ環境に対応できるようコンピュータリテラシーの知識を身につける。								
<b>□授業の到達目標</b> 1. タッチタイピングによる正確なキーボード入力を習得する 2. 表計算ソフト「Microsoft Excel」の基本操作を習得する								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				20	授業態度と提出物を重視して評価します。			
試験等	提出物			60	<b>□学生へのメッセージ</b> この授業は「パソコン初心者」にレベル設定していますので、パソコン操作に慣れていない学生も安心して受講してください。コンピュータの知識は社会人としての基礎スキルであり、他の教科の学習にも関わります。幅広く学びましょう。また MOS の取得を目標に定めてもよいでしょう。			
	レポート			-				
	随時試験			-				
	定期試験			-				
	平常の授業状況 ( )			20				
その他 ( )			-					
合 計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
よくわかる Microsoft Word 2021 & Microsoft Excel 2021 & Microsoft PowerPoint 2021 FOM 出版								

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ガイダンス	授業の進め方、パソコンの起動と終了、USB メモリについて
2	タッチタイピング	タッチタイピングの練習方法
3	Excel 演習①	Excel の基本操作 (画面構成、範囲選択、移動とコピー)
4	Excel 演習②	表の作成と編集 (オートフィル、罫線、表の書式設定)
5	Excel 演習③	基本的な関数 (SUM, AVERAGE など)、絶対参照
6	Excel 演習④	条件付き書式、オートフォーマット、表の印刷
7	Excel 演習⑤	グラフの作成 (円グラフ、棒グラフ)
8	Excel 演習⑥	表の作成と編集 (オートフィル、罫線、表の書式設定)
9	Excel 演習⑦	データベース機能
10	Excel 演習<課題>①	復習課題①
11	Excel 演習<課題>②	復習課題②
12	Excel 演習<課題>③	復習課題③
13	Excel 演習<課題>④	復習課題④
14	Excel 演習<課題>⑤	復習課題⑤
15	Excel 演習<課題>⑥	復習課題⑥

科目名	パソコン演習Ⅱ			担当教員	江畑 里絵		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	システムエンジニアとして5年間システム開発会社に勤務。顧客へのシステム導入経験をもとにシステム活用に必要な知識を丁寧に指導していく。					
<b>□位置付け</b> 社会人として必要なマイクロソフトオフィスアプリケーションに関する知識を学び、活用することで実践的な技術を身につける科目である。								
<b>□授業の目的</b> 社会人基礎力としてのパソコンの活用方法を習得し、社会人になった際、職場のコンピュータ環境に対応できるようコンピュータリテラシーの知識を身につける。								
<b>□授業の到達目標</b> 1. タッチタイピングによる正確なキーボード入力を習得する 2. 表計算ソフト「Microsoft Word」と「Microsoft PowerPoint」の基本操作を習得する								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				20	授業態度と提出物を重視して評価します。			
試験等	提出物			60	<b>□学生へのメッセージ</b> この授業は「パソコン初心者」にレベル設定していますので、パソコン操作に慣れていない学生も安心して受講してください。コンピュータの知識は社会人としての基礎スキルであり、他の教科の学習にも関わります。幅広く学びましょう。また MOS の取得を目標に定めてもよいでしょう。			
	レポート			-				
	随時試験			-				
	定期試験			-				
	平常の授業状況 ( )			20				
その他 ( )			-					
合計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
よくわかる Microsoft Word 2021 & Microsoft Excel 2021 & Microsoft PowerPoint 2021 FOM 出版								

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	Word 演習①	Word の基本操作 (画面構成、範囲選択、移動とコピー)
2	Word 演習②	書式設定 (均等割付、箇条書き、ルビ、傍点)
3	Word 演習③	印刷機能 (ヘッダー・フッター、レイアウト設定、印刷)
4	Word 演習④	表作成機能
5	Word 演習⑤	表現力をアップする機能
6	Word 演習<課題>①	復習課題①
7	Word 演習<課題>②	復習課題②
8	PowerPoint 演習①	PowerPoint の基本操作、スライドの作成、オブジェクトの挿入
9	PowerPoint 演習②	効果的な機能、スライドショー
10	PowerPoint 演習③	スライドの作成
11	PowerPoint 演習<課題>①	復習課題①
12	PowerPoint 演習<課題>②	復習課題②
13	アプリ間でデータを共有①	Excel、Word、PowerPoint それぞれで作成したデータを共有して活用する方法
14	アプリ間でデータを共有②	
15	アプリ間でデータを共有③	

科目名	サービス接遇 I		担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務		学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	前期
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。				

#### □位置付け

接客における良いマナーや正しい立ち居振る舞いの方法を学び、それを活用してより良いコミュニケーション能力を身につけていく科目である。

#### □授業の目的

- ・社会人として必要なマナーを学び、良い印象を与える立ち振る舞いを身に付ける。
- ・どのような立場の方とも気持ちよく過ごせるコミュニケーション能力を身に付ける。

#### □授業の到達目標

- ・社会常識を理解し、一般的なマナーを習得する。
- ・接遇用語や敬語を正しく使用できる。
- ・様々な職種における基本的なお客様対応を理解する。
- ・サービス接遇検定3級の取得を目指す。

#### □成績評価の方法

評価項目

割合

出席状況

30

試験等

提出物

レポート

随時試験

定期試験

平常の授業状況 ( )

その他 ( )

合計

100%

#### □成績評価に関するコメント

ペアワークやグループワークへの参加態度も評価にされますので積極的に参加しましょう。

#### □学生へのメッセージ

この授業で行う内容はコミュニケーションの基礎となります。授業内だけでなく普段から良い言葉遣い、マナーを心掛けましょう。

#### □テキスト

- ・サービス接遇検定 準1級・2級・3級  
テキスト&問題集
- ・美しく字が書ける ペン字練習帳

#### □参考図書・資料・参考ホームページ

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	授業の目標、サービスの意義、資格試験概要
2	対人技能	適切な接遇用語・敬語
3	実務技能	社交業務
4	一般知識	ことわざ、慣用語、専門用語
5	専門知識	お客様の対応方法
6	3級検定対策①	過去問演習・解説
7	3級検定対策②	〃
8	3級検定対策③	〃
9	3級検定対策④	〃
10	検定試験振り返り	検定試験解答解説、2級受験の概要
11	2級検定対策①	〃
12	2級検定対策②	〃
13	2級検定対策③	〃
14	2級検定対策④	〃
15	定期試験	

科目名	サービス接遇Ⅱ			担当教員	清水・結城		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<b>□位置付け</b> 接客における良いマナー、良い立ち居振る舞いの方法を学び、それを活用してより良いコミュニケーション能力を身につけていく科目である。								
<b>□授業の目的</b> どのような仕事に就いてもコミュニケーションは欠かせません。この授業では社会人として必要なマナーを学び、良い印象を与える立ち居振る舞いを身に付けます。前期に身に付けた基本を活用し、2級受験後には実践的な場面を想定したロールプレイングを行います。これらの学習を行うことで社会に出て即戦力になる人材の育成を目標とします。								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さまに良い印象を与える接遇を身に付ける。</li> <li>・社会人として必要なマナーを身に付け臨機応変に対応できる。</li> <li>・サービス接遇検定2級の取得を目指す。</li> <li>・サービス接遇検定準1級の取得を目指す。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				30	・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。 ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。 ・試験は、テキストや配布資料から出題します。  <b>□学生へのメッセージ</b> この授業で行う内容はコミュニケーションの基礎となります。授業中だけでなく普段から良い言葉遣い、マナーを心掛けましょう。			
試験等	提出物			—				
	レポート			—				
	随時試験			—				
	定期試験			50				
	平常の授業状況 ( )			20				
その他 ( )			—					
合計				100%				
<b>□テキスト</b> サービス接遇検定 準1級・2級・3級 テキスト & 問題集 美しく正しい字が書ける ペン字練習帳					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	授業の進め方、目的
2	2級検定対策①	過去問題、解説、ペン字練習
3	2級検定対策②	〃
4	2級検定対策③	〃
5	2級検定対策④	〃
6	2級検定対策⑤	〃
7	準1級・1級内容紹介	準1級・1級の問題にチャレンジ
8	ビジネスマナー①	ビジネス文書
9	ビジネスマナー②	電話応対
10	ビジネスマナー③	来客応対・訪問
11	ビジネスマナー④	名刺交換
12	ビジネスマナー⑤	冠婚葬祭
13	ビジネスマナー⑥	食事のマナー (和食・洋食)
14	総復習	まとめ
15	定期試験	

科目名	キャリアデザインⅠ			担当教員	渋谷 大樹		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b>								
年間の運営計画に基づくクラス活動（ホームルーム）で、学生とクラス担当が学年、学期ごとの学習目標や学校生活上の課題の解決を図りながら、円滑にコミュニケーションを維持、増進する時間である。また、キャリアサポートプログラム（WCSP）による就職活動を含む進路選択の支援、指導などを行う科目である。								
<b>□授業の目的</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活と日常の学習及び検定、就職活動などに関わる連絡事項の周知徹底。</li> <li>・クラス担任と学生及び学生相互の円滑かつ確かなコミュニケーションの維持、向上。</li> <li>・クラス担任による学習及び学校生活、就職活動などの日常指導、また課外活動や学校行事の参加準備。</li> <li>・資格試験の合格に向けた準備と補助指導。</li> <li>・就職活動に必要な情報提供と実地練習などによる就職活動支援。</li> </ul>								
<b>□授業の到達目標</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸連絡事項をタイムリーに正確に伝達し、クラス全員に周知徹底する。</li> <li>・クラス担任と学生及び学生相互のコミュニケーションを維持し、向上させ、円滑な人間関係を形成する。</li> <li>・学習及び学校生活、就職活動などの指導を適宜実施し、課外活動や学校行事などにも協力して取り組む。</li> <li>・必要な準備と補助指導により目指す検定に合格する。</li> <li>・キャリアサポートセンターと協力し就職活動へ向け自己を振り返り、意識の醸成を行う支援、指導により、学生の希望する就職内定を実現する。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。</li> <li>・平時の授業状況は、授業への取り組む姿勢、態度により評価します。</li> </ul> <b>□学生へのメッセージ</b> クラスの運営に関わる話し合いや企業研究、自己理解を深めるプログラムを行います。就職活動における職種・企業決定の基礎になりますので、当事者意識をもち真剣に取り組ましましょう。進行状況により授業内容の変更が生じる場合があります。			
試験等	提出物							
	レポート							
	随時試験							
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）		60					
その他（ ）								
合計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
・就職活動ノート								

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ホームルーム①	入学から卒業までの流れ、前期の目標設定、クラス委員決め
2	企業研究①	企業研究（グループワーク）
3	企業研究②	企業研究（グループワーク）
4	企業研究③	企業研究（グループワーク）
5	企業研究④	店舗見学
6	企業研究⑤	企業研究発表
7	ホームルーム②	体育祭に向けて
8	授業アンケート	授業アンケートの実施
9	自己理解①	自己分析①(CSC)
10	普通救命講習	普通救命講習の受講
11	自己理解②	自己分析②(CSC)
12	1・2年合同授業	内定者報告会(CSC)
13	筆記試験対策	一般常識模擬試験実施
14	自己理解③	自己分析③(CSC)
15	自己理解④	自己分析④(CSC)

科目名	キャリアデザインⅡ			担当教員	渋谷 大樹		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 年間の運営計画に基づくクラス活動（ホームルーム）で、学生とクラス担当が学年、学期ごとの学習目標や学校生活上の課題の解決を図りながら、円滑にコミュニケーションを維持、増進する時間である。また、キャリアサポートプログラム（WCSP）による就職活動を含む進路選択の支援、指導などを行う科目である。								
<b>□授業の目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活と日常の学習及び検定、就職活動などに関わる連絡事項の周知徹底。</li> <li>・就職活動に必要な情報提供と実地練習などによる就職活動支援。</li> <li>・クラス担任による学習及び学校生活、就職活動などの日常指導、また課外活動や学校行事の参加準備。</li> </ul>								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸連絡事項をタイムリーかつ正確に伝達し、クラス全員に周知徹底する。</li> <li>・キャリアサポートセンターと協力し、就職活動の支援・指導を行い、希望する就職内定の実現を目指す。</li> <li>・学習及び学校生活、就職活動などの日常指導を適宜実施し、課外活動や学校行事などにも協力して取り組む。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>		評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>				
出席状況			40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。</li> <li>・平時の授業状況は、授業への取り組む姿勢、態度により評価します。</li> </ul>				
試験等	提出物			<b>□学生へのメッセージ</b> 就職活動に向けた支援、指導を中心に行います。就職活動は早めに準備をすることが大切です。進行状況により授業内容の変更が生じる場合があります。				
	レポート							
	随時試験							
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）		60					
	その他（ ）							
合 計			100%					
<b>□テキスト</b> ・就職活動ノート				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	就職情報サイトの活用、求人票の見方、前年度の就職状況(CSC)
2	学園祭準備(変更)	学園祭準備
3	履歴書対策①	履歴書作成①パソコンによる履歴書入力(CSC)
4	履歴書対策②	履歴書作成②パソコンによる履歴書入力(CSC)
5	履歴書対策③	履歴書作成③パソコンによる履歴書入力(CSC)
6	面接対策①	オンライン面接対策(CSC)
7	筆記試験対策	一般常識模擬試験実施
8	学園祭準備(変更)	学園祭準備
9	面接対策③	インストラクターによる所作指導(CSC)
10	面接対策④	模擬集団面接(CSC)
11	面接対策⑤	模擬集団面接(CSC)
12	面接対策⑥	グループディスカッション(DVD視聴+実践)(CSC)
13	企業説明会	企業説明会・対策
14	個別指導	個別面談による就職状況確認(CSC)
15	個別指導	個別面談による就職状況確認(CSC)

科目名	医薬品基礎と安全対策			担当教員	渋谷 大樹		単位数	4
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 医薬品の特性とその安全性について学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> ここ数年、少子高齢化の中で一般医薬品の果たすべき役割が重要になり、併せてセルフメディケーションの位置づけが高まっています。今後、益々医薬・健康美容にかかわる専門家は、大きな役割と責任が期待されていきます。この授業では、医薬品に共通する特性、基本的な知識、医薬品の安全性を体系的に学びます。								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の本質を理解する</li> <li>・ 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因を理解する</li> <li>・ 適切な医薬品選択と受診勧奨を理解する</li> <li>・ 薬害の歴史を理解する</li> <li>・ 医薬品の適正使用と安全対策を理解する</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				10	定期試験だけではなく授業態度、出席状況を総合的に評価します。積極的に参加しましょう。  <b>□学生へのメッセージ</b> 覚える内容が多いため、授業終了後に復習をする習慣をつけましょう。			
試験等	提出物		—					
	作文		—					
	随時試験		—					
	定期試験		80					
	平常の授業状況 ( )		10					
	その他 ( )		—					
合計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 上巻								

### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	医薬品の本質	医薬品そのもの、副作用、情報収集と提供の概要を知る
2	医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因①	副作用と不適切な使用、有害事象、相互作用を知る
3	同上②	小児、高齢者、妊婦・授乳婦、治療中の人への対応を知る
4	同上③	プラセボ効果、医薬品の品質を知る
5	適切な医薬品選択と受診勧奨	一般用医薬品で対処可能な範囲と販売時のコミュニケーション
6	薬害の歴史	医薬品の副作用に対する基本的な考え方と主な訴訟を知る
7	中間試験及び解説	1章のまとめ
8	医薬品の適正使用と安全対策①	適正情報の意義と添付文書や製品表示の記載の内容を知る(1)
9	医薬品の適正使用と安全対策②	添付文書や製品表示の記載の内容を知る(2)
10	医薬品の適正使用と安全対策③	添付文書や製品表示の記載の内容を知る(3)
11	医薬品の適正使用と安全対策④	医薬品の副作用情報等の収集、評価および措置を知る
12	医薬品の適正使用と安全対策⑤	医薬品副作用被害救済制度を知る
13	医薬品の適正使用と安全対策⑥	一般医薬品に関する安全対策、各種啓発活動とその重要性を知る
14	問題演習と試験対策①	これまで学習した範囲の振り返りと演習
15	問題演習と試験対策②	これまで学習した範囲の振り返りと演習
16	問題演習と試験対策③	これまで学習した範囲の振り返りと演習

17	問題演習と試験対策④	これまで学習した範囲の振り返りと演習
18	問題演習と試験対策⑤	これまで学習した範囲の振り返りと演習
19	問題演習と試験対策⑥	これまで学習した範囲の振り返りと演習
20	問題演習と試験対策⑦	これまで学習した範囲の振り返りと演習
21	問題演習と試験対策⑧	これまで学習した範囲の振り返りと演習
22	問題演習と試験対策⑨	これまで学習した範囲の振り返りと演習
23	問題演習と試験対策⑩	これまで学習した範囲の振り返りと演習
24	問題演習と試験対策⑪	これまで学習した範囲の振り返りと演習
25	問題演習と試験対策⑫	これまで学習した範囲の振り返りと演習
26	問題演習と試験対策⑬	これまで学習した範囲の振り返りと演習
27	問題演習と試験対策⑭	これまで学習した範囲の振り返りと演習
28	問題演習と試験対策⑮	これまで学習した範囲の振り返りと演習
29	問題演習と試験対策⑯	これまで学習した範囲の振り返りと演習
30	期末試験	

科目名	人体の構造			担当教員	渋谷 大樹		単位数	4
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 医薬品の人体への作用をより理解するため、人体の構造と働きを学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> 登録販売者という一般用医薬品のプロフェッショナルを目指すためには、一般用医薬品の知識だけでなく、それらが人体のどの器官に対してどのように作用し、どのような効果と副作用をもたらすのかを熟知することで達成されます。本講義では、登録販売者として必要不可欠な人体の構造に関する基礎解剖学や生理学を習得し、将来的に信頼される一般医薬品アドバイザーとなるためのベースライン構築を目的とします。								
<b>□授業の到達目標</b> 本講義では、以下の4項目を授業の到達目標とします。 1. 人体を構成する細胞、組織、器官、器官系を理解し、人体の基本的な構造が説明できるようになる。 2. 人体の各臓器の機能と役割を理解し、説明できるようになる。 3. 人体の各臓器が障害されたときに発生する疾患との関連性を理解し、説明できるようになる。 4. 登録販売者試験において、人体の構造に関連する問題の正答率90%以上を目指す。								
<b>□成績評価の方法</b>		評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>				
出席状況			10	講義への出席状況や参加意欲(積極性)、定期試験(期末試験)などを総合的に勘案して評価します。				
試験等	提出物		—	<b>□学生へのメッセージ</b> 医療現場での実体験を盛り込んで皆さんが興味を持って授業参加できるように創意工夫しますので、講義を楽しみながら解剖学や生理学の基礎知識を習得して下さい。				
	作文		—					
	随時試験		—					
	定期試験		80					
	平常の授業状況( )		10					
その他( )			—					
合計			100%					
<b>□テキスト</b> ・登録販売者試験 受験対策 共通テキスト 上巻 ・過去問題集				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	人体の構造と働き①	基礎(細胞と組織)
2	人体の構造と働き②	消化器系(消化管)
3	人体の構造と働き③	消化器系(消化腺)
4	人体の構造と働き④	呼吸器系
5	人体の構造と働き⑤	循環器系(心臓血管系)
6	人体の構造と働き⑥	循環器系(体液と血液)
7	人体の構造と働き⑦	泌尿器系
8	人体の構造と働き⑧	感覚器
9	人体の構造と働き⑨	運動器
10	人体の構造と働き⑩	神経系(自律神経、末梢神経)
11	人体の構造と働き⑪	Ⅱ 薬が働く仕組み
12	人体の構造と働き⑫	Ⅲ 症状からみた副作用 ①
13	人体の構造と働き⑬	Ⅲ 症状からみた副作用 ②
14	問題演習と試験対策①	これまで学習した範囲の振り返りと演習
15	問題演習と試験対策②	これまで学習した範囲の振り返りと演習
16	問題演習と試験対策③	これまで学習した範囲の振り返りと演習
17	問題演習と試験対策④	これまで学習した範囲の振り返りと演習

18	問題演習と試験対策⑤	これまで学習した範囲の振り返りと演習
19	問題演習と試験対策⑥	これまで学習した範囲の振り返りと演習
20	問題演習と試験対策⑦	これまで学習した範囲の振り返りと演習
21	問題演習と試験対策⑧	これまで学習した範囲の振り返りと演習
22	問題演習と試験対策⑨	これまで学習した範囲の振り返りと演習
23	問題演習と試験対策⑩	これまで学習した範囲の振り返りと演習
24	問題演習と試験対策⑪	これまで学習した範囲の振り返りと演習
25	問題演習と試験対策⑫	これまで学習した範囲の振り返りと演習
26	問題演習と試験対策⑬	これまで学習した範囲の振り返りと演習
27	問題演習と試験対策⑭	これまで学習した範囲の振り返りと演習
28	問題演習と試験対策⑮	これまで学習した範囲の振り返りと演習
29	問題演習と試験対策⑯	これまで学習した範囲の振り返りと演習
30	期末試験	

科目名	医薬品の作用 I			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<b>□位置付け</b> 医薬品の人体への主作用、副作用などを、臓器や器官系ごとに系統的に学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> ここ数年、少子高齢化の中で一般用医薬品の果たすべき役割が重要になり、併せてセルフメディケーションの位置づけが高まっています。今後、益々医薬・健康美容にかかわる専門家は、大きな役割と責任が期待されていきます。この授業では、医薬品の作用を体系的に学びます。								
<b>□授業の到達目標</b> ・病気の諸症状と神経/器官等に作用する薬（配合成分、副作用、相互作用、受診勧奨）を理解する ・登録販売者試験において、関連する問題の正答率80%以上に到達する								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				10	・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。 ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。 ・試験は、テキストを中心とした範囲で出題します。  <b>□学生へのメッセージ</b> 成分名や副作用を覚えることは大変ですが、授業だけでなく復習を通して身に付けていくことが重要です。 一緒に頑張りましょう。			
試験等	提出物							
	レポート							
	随時試験		20					
	定期試験		60					
	平常の授業状況（ ）		10					
合計				100%				
<b>□テキスト</b> ・登録販売者試験受験対策 共通テキスト・下巻				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	授業の進め方、目的
2	かぜ薬	かぜ薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
3	解熱鎮痛薬	解熱鎮痛薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
4	催眠鎮静薬・眠気防止薬	催眠鎮静薬・眠気防止薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
5	鎮暈薬・小児鎮静薬	鎮暈薬・小児鎮静薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
6	鎮咳去痰薬	鎮咳去痰薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
7	随時試験	振り返り・小テスト・解説
8	口腔咽喉薬・含嗽薬	口腔咽喉薬・含嗽薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
9	眼科用薬	眼科用薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
10	強心薬	強心薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
11	高コレステロール改善薬	高コレステロール改善薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
12	貧血用薬・その他循環器用薬	貧血用薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
13	随時試験	振り返り・小テスト・解説
14	総復習	総復習
15	定期試験	総合問題

科目名	医薬品の作用Ⅱ			担当教員	渋谷 大樹		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<input type="checkbox"/> 位置付け 医薬品の人体への主作用、副作用などを、臓器や器官系ごとに系統的に学ぶ科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ・テキスト「登録販売者試験・下巻・3章」のうち、胃腸、排泄にかかる部位、婦人の薬について学ぶ ・実践演習問題も随時取り入れ、習熟度をチェックしながら、登録販売者試験の合格、ならびに医薬品のアドバイザーになることを目的に、授業を行う。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ・胃、腸、排泄に関わる部位、婦人の不調の仕組みを理解する ・それらの薬の働く仕組みを理解する ・それらの主な成分の名称、配合目的、副作用、相互作用などを覚える								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況			10	<input type="checkbox"/> 試験等 テキストの事前予習と復習をするとともに、日常生活で体験した事例を関連づけて、学習効果をより高めてください				
試験等	提出物		—					
	レポート		—					
	随時試験							
	定期試験		80					
	平常の授業状況 ( )		10					
		その他 ( )	—	<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ ・登録販売者試験受験対策 重要ワード集 (有限責任中間法人 日本薬業研修センター)				
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト 登録販売者試験 受験対策 共通テキスト 上巻 過去問題集								

#### 授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	胃と腸のしくみ	胃と腸の構造と働きを知る
2	胃の薬①	胃の不調の原因、薬の働きなどを知る
3	胃の薬②	代表的な配合成分等、主な副作用、相互作用、受診勧奨を知る
4	腸の薬①	腸の不調の原因、薬の働きなどを知る
5	腸の薬②	止瀉薬（ししゃやく）、瀉下薬（しゃげやく）を知る
6	腸の薬③	代表的な配合成分等、主な副作用、相互作用、受診勧奨を知る
7	胃腸鎮痛鎮痙薬	急な胃腸の痛み等の仕組み、配合成分、主な副作用などを知る
8	その他消化器官用薬	浣腸薬、駆虫薬の配合成分、主な副作用などを知る
9	排泄に関わる部位の薬①	痔の発症と対処、痔疾用薬について知る
10	排泄に関わる部位の薬②	配合成分、主な副作用などを知る
11	その他の泌尿器用薬	代表的な配合成分等、主な副作用などを知る
12	婦人薬①	月経、適用対象となる体質・症状配合成分、副作用などを知る
13	婦人薬②	月経、適用対象となる体質・症状配合成分、副作用などを知る
14	問題演習	
15	定期試験	

科目名	医薬品の作用Ⅲ			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<b>□位置付け</b> 医薬品の人体への主作用、副作用などを、臓器や器官系ごとに系統的に学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> ここ数年、少子高齢化の中で一般用医薬品の果たすべき役割が重要になり、併せてセルフメディケーションの位置づけが高まっています。今後、益々医薬・健康美容にかかわる専門家は、大きな役割と責任が期待されていきます。この授業では、医薬品の作用を体系的に学びます。								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の諸症状と神経／器官等に作用する薬（配合成分、副作用、相互作用、受診勧奨）を理解する</li> <li>・登録販売者試験において、関連する問題の正答率80%以上に到達する</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				10	・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。 ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。 ・試験は、テキストを中心とした範囲で出題します。  <b>□学生へのメッセージ</b> 成分名や副作用を覚えることは大変ですが、授業だけでなく、復習を通して身に付けていくことが重要です。 一緒に頑張りましょう。			
試験等	提出物							
	作文							
	随時試験		20					
	定期試験		60					
	平常の授業状況（ ）		10					
合計				100%				
<b>□テキスト</b>				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				
・登録販売者試験受験対策 共通テキスト 下巻								

### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	内服アレルギー用薬	内服アレルギー用薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
2	鼻炎用点鼻薬	鼻炎用点鼻薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
3	殺菌消毒薬	殺菌消毒薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
4	痒み・腫れ・痛みを抑える薬	配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
5	その他外皮用薬	その他外皮用薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
6	随時試験	振り返り・小テスト・解説
7	滋養強壮保健薬	滋養強壮保健薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
8	消毒薬・殺虫薬・忌避薬	消毒薬・殺虫薬・忌避薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
9	一般用検査薬	一般用検査薬の配合成分/主な副作用/相互作用/受診勧奨
10	随時試験	振り返り・小テスト・解説
11	問題演習①	問題演習・解説
12	問題演習②	〃
13	問題演習③	〃
14	総復習	総復習
15	定期試験	総合問題

科目名	医薬品関係法規			担当教員	清水 之雅		単位数	4
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 医薬品関連業務上必要な医薬品関連法規と制度（医薬品医療機器法等）について学ぶ科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ここ数年、少子・高齢化の中で一般用医薬品の果たすべき役割が重要になり、併せてセルフメディケーションの位置づけが高まっています。今後、益々医薬・健康美容にかかわる専門家は、大きな役割と責任が期待されていきます。この授業では、医薬品関連法規を体系的に学びます。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ①医薬品の販売業の許可を理解する ②医薬品の取扱いを理解する ③医薬品販売に関する法令遵守を理解する								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法 評価項目			割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント ・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。 ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。 ・試験は、テキストを中心とした範囲で出題します。				
出席状況			10	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 薬機法では、医薬品にまつわる様々な事項が厳格に定められています。実際に薬局・薬店で確かめて、体験し、授業の内容を身に付けていきましょう。				
試験等	提出物							
	レポート							
	随時試験		20					
	定期試験		60					
	平常の授業状況（ ）		10					
その他（ ）								
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト ・登録販売者試験受験対策 共通テキスト 上巻				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	授業の進め方と目的
2	薬機法について	薬機法の目的/販売従事登録
3	医薬品の取り扱い①	医薬品の定義と範囲
4	医薬品の取り扱い②	医薬品の取り扱い/分類
5	医薬品の取り扱い③	毒薬・劇薬/生物由来製品
6	医薬品の取り扱い④	一般用医薬品のリスク区分
7	医薬品の取り扱い⑤	一般用医薬品の記載事項
8	医薬品の取り扱い⑥	医薬部外品/化粧品
9	食品について	食品とは/保健機能食品/特別用途食品
10	まとめ	1～9回振り返り
11	随時試験	小テスト/解説
12	医薬品の販売業の許可①	医薬品の販売業の種類
13	医薬品の販売業の許可②	薬局の許可・許可行為
14	医薬品の販売業の許可③	店舗販売業/配置販売業/卸売販売業の許可・許可行為
15	医薬品販売に関する法令遵守①	医薬品のリスク区分に応じた販売/情報提供

回数	テーマ	授業の内容、進め方
16	医薬品販売に関する法令遵守②	医薬品のリスク区分に応じた陳列
17	医薬品販売に関する法令遵守③	店舗等における掲示/特定販売
18	医薬品販売に関する法令遵守④	行政庁の監視指導
19	まとめ	11～18 回振り返り
20	随時試験	小テスト/解説
21	問題演習①	過去問演習/解説
22	問題演習②	〃
23	問題演習③	〃
24	問題演習④	〃
25	問題演習⑤	〃
26	問題演習⑥	〃
27	問題演習⑦	〃
28	問題演習⑧	〃
29	問題演習⑨	〃
30	定期試験	第4章の総合問題

科目名	医薬品応用			担当教員	渋谷 大樹		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<input type="checkbox"/> 位置付け 登録販売者試験領域の試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 登録販売者試験の過去問題の演習を通して、一般医薬品の知識を身に付けるとともに、登録販売者試験に合格することを目的にしている。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 登録販売者試験に合格できるレベルを到達目標としている。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				20	講義への出席状況や参加意欲（積極性）、定期試験（期末試験）などを総合的に考慮して評価します。  <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ これまで学習した内容を中心に、復習や確認、問題演習などを行っていきます。毎日少しずつ頑張ってください。			
試験等	提出物							
	作文							
	随時試験							
	定期試験			60				
	平常の授業状況（ ）			20				
その他（合格基準以上）								
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			
・登録販売者試験 受験対策 共通テキスト 上巻 ・過去問題集					・登録販売者試験 過去問題集			

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	問題演習と試験対策①	これまで学習した範囲の振り返りと演習
2	問題演習と試験対策②	これまで学習した範囲の振り返りと演習
3	問題演習と試験対策③	これまで学習した範囲の振り返りと演習
4	問題演習と試験対策④	これまで学習した範囲の振り返りと演習
5	問題演習と試験対策⑤	これまで学習した範囲の振り返りと演習
6	問題演習と試験対策⑥	これまで学習した範囲の振り返りと演習
7	問題演習と試験対策⑦	これまで学習した範囲の振り返りと演習
8	問題演習と試験対策⑧	これまで学習した範囲の振り返りと演習
9	問題演習と試験対策⑨	これまで学習した範囲の振り返りと演習
10	問題演習と試験対策⑩	これまで学習した範囲の振り返りと演習
11	問題演習と試験対策⑪	これまで学習した範囲の振り返りと演習
12	問題演習と試験対策⑫	これまで学習した範囲の振り返りと演習
13	問題演習と試験対策⑬	これまで学習した範囲の振り返りと演習
14	問題演習と試験対策⑭	これまで学習した範囲の振り返りと演習
15	定期試験	

科目名	登録販売者試験対策講座			担当教員	渋谷・清水		単位数	6
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 登録販売者領域の試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 登録販売者試験の過去問題の演習を通して、登録販売者に必要な知識を身に付けるとともに、登録販売者試験に合格することを目的にしている。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ・登録販売者試験に合格できるレベルを到達目標としている。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況			20	課題の提出と出席状況、授業態度を評価します。 定期試験は実施しないので授業を真面目に受けてください。  <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 登録販売者はドラッグストア、調剤事務どちらにおいても重要な資格です。取得できるように繰り返し勉強しましょう。				
試験等	提出物		60					
	作文							
	随時試験							
	定期試験							
	平常の授業状況 ( )		20					
その他 ( )								
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1～ 45	登録販売者試験対策	問題演習を行い、解答解説を進めていきます。 毎回課題を用意するので、必ず提出してください。

科目名	OTC 薬の応対 I			担当教員	中村 博臣		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1 年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	薬剤師として、企業に 37 年間の医薬品関連の実務経験と 15 年間の教師としての実務経験をもとに OTC 薬についての授業を行います。					
<input type="checkbox"/> 位置付け いままで学んできた一般用医薬品の知識を再確認し、それらの知識を活用して、実際の相談を想定しながら応対する技術を学ぶ科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 OTC 薬の基本を理解し、ケース対応の知識と技術を習得することを目標としている。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ケース対応の際に、お客さまの症状に最適な OTC 薬が選択でき、かつ、わかりやすい説明ができるレベルを到達目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法				評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント		
出席状況					20	提出物のほかに、出席状況、授業態度（積極的な発言など）により、総合的に評価します  <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ OTC 薬に関しての総合的な知識の集約ですので、就職後の業務に役立てることが出来ます		
試験等	提出物				30			
	レポート							
	随時試験							
	定期試験				30			
	平常の授業状況（ ）				20			
その他（ ）								
合 計					100%			
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			
よくわかる一般用医薬品 (薬事日報ドーモ)								

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	はじめに	添付文書の読み方
2	「サンテザイオン」(目薬)	応対例の作成(演習)
3	アドレナリン作動成分、局所麻酔成分	使用上の注意
4	「ベンザ鼻炎スプレー」(点鼻薬)	応対例の作成、提出
5	抗ヒスタミン成分、抗コリン成分	使用上の注意
6	「ガストール錠」(胃腸薬)	グループワークによる応対例の作成
7	〃	グループワークによる応対例の発表(提出)
8	ステロイド(抗炎症)成分、鎮静成分	使用上の注意
9	「エアミットサット F」(乗物酔い防止薬)	グループワークによる応対例の作成
10	〃	グループワークによる応対例の発表(提出)
11	鎮咳去痰成分、強心成分	使用上の注意
12	「救心」(強心薬)	グループワークによる応対例の作成
13	〃	グループワークによる応対例の発表(提出)
14	解熱鎮痛成分	各成分の違い、使用上の注意点
15	定期試験	解熱鎮痛薬の応対例の作成、提出

科目名	病気とヘルスケア			担当教員	中村 博臣		単位数	4
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	薬剤師として医薬品関連企業に 37 年間勤務した実務経験と、15 年間の教師としての実務経験をもとに、ヘルスケアについての授業を行います。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 病気の成り立ちや予防などを学び、健康維持のための相談やアドバイスができる知識を学ぶ科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 登録販売者として、現場に出たときに必要となる病気・健康維持、及び一般用医薬品（OTC 薬）などの知識を習得することを目的とする。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 登録販売者試験に合格できるレベルを到達目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント 出席状況、授業態度（積極的な発言など）、随時試験、定期試験で評価します			
出席状況				20	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 病気や健康に関する知識を確実に身につけましょう			
試験等	提出物			—				
	レポート			—				
	随時試験			30				
	定期試験			30				
	平常の授業状況（ ）			20				
その他（ ）			—					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト 登録販売者試験対策テキスト（下） 第3章				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	病気についての基礎知識	病原体の種類、免疫作用、神経系、内分泌系の知識
2	精神神経系に作用する薬	かぜ薬、眠気を促す薬、鎮暈薬、小児鎮静薬
3	精神神経系の病気(1)	かぜとよく似た病気、プロスタグランジンの働き
4	解熱鎮痛（抗炎症）薬	発熱・痛み・炎症の仕組み、成分名の覚え方
5	精神神経系の病気(2)	急性中耳炎、うつ病など
6	アドレナリン作動成分	作用機序と成分名の覚え方
7	呼吸器系の病気	線毛運動、咳嗽中枢（参考）DNA の仕組み
8	鎮咳成分・去痰成分	作用機序と成分名の覚え方
9	消化器系の病気(1)	胃の不調、胃の薬の注意点
10	抗ヒスタミン成分、鎮静成分	作用機序と成分名の覚え方
11	消化器系の病気(2)	腸の不調、腸の薬の注意点
12	抗コリン成分	作用機序と成分名の覚え方
13	循環器系、排泄系の病気	善玉・悪玉コレステロール、貧血など
14	心臓、血液、排泄用薬	動脈硬化の仕組み、貧血の仕組み
15	婦人病、アレルギーの病気	月経の仕組み、アレルギーの仕組み
16	婦人薬、アレルギー用薬	女性ホルモン成分、スプレー式点鼻薬の注意点

17	目の病気、皮膚の病気	目の構造、ニキビなど（参考）毒薬・劇薬のラベル
18	眼科用薬、皮膚に用いる薬	目薬成分の覚え方、殺菌消毒成分の覚え方
19	歯や口腔の病気、喫煙の病気	虫歯、歯槽膿漏、口内炎、ニコチンとは
20	口腔用薬、禁煙補助剤	使用上の注意点
21	ビタミン欠乏の病気	ビタミンの働き
22	滋養強壮保健薬	ビタミン成分の覚え方
23	漢方とは	漢方の考え方
24	漢方処方製剤、生薬製剤	生薬の薬用部位、基原植物の注意点
25	殺菌消毒成分と病原体	特殊細菌、衛生害虫、殺虫剤
26	公衆衛生用薬、検査薬	殺菌消毒成分名・殺虫成分の覚え方
27	総合レビュー	テキスト（下）第3章
28	総合レビュー	テキスト（下）第3章
29	定期試験	
30	定期試験	

科目名	漢方の知識			担当教員	中村 博臣		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	薬剤師として、企業に37年間の医薬品関連の実務経験と15年間の教師としての実務経験をもとに、漢方薬についての授業を行います。					
<b>□位置付け</b> 生薬の種類と薬効、および漢方処方製剤の考え方、処方が適する人、適さない人、服用時の注意点などを学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> 登録販売者として現場に出た時に、必要となる漢方処方製剤の知識を習得し、生薬名・漢方処方製剤名に慣れ親しむことを目的とする。								
<b>□授業の到達目標</b> 登録販売者試験に合格できるレベルを到達目標とする。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				20	出席状況、授業態度（積極的な発言など）、随時試験、定期試験で総合的に評価します  <b>□学生へのメッセージ</b> 随時試験などで復習しながら、確実に知識を身につけましょう			
試験等	提出物			—				
	レポート			—				
	随時試験			30				
	定期試験			30				
	平常の授業状況（ ）			20				
その他（ ）			—					
合計				100%				
<b>□テキスト</b> 登録販売者試験対策テキスト（下） （愛3章）					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	精神神経に作用する薬	関連する漢方薬、生薬の特徴
2	精神神経・呼吸器の作用薬	〃 小テスト(1)
3	精神神経に作用する薬	〃 小テスト(2)
4	胃腸に作用する薬	〃 小テスト(3)
5	強心・循環器に作用する薬	〃 小テスト(4)
6	排泄に関わる薬	〃 小テスト(5)
7	婦人薬	〃 小テスト(6)
8	内服アレルギー・皮膚の薬	〃 小テスト(7)
9	滋養強壮保健薬	〃 小テスト(8)
10	漢方処方製剤、生薬製剤	〃 小テスト(9)
11	生薬の総合レビュー	〃 小テスト(10)
12	生薬の総合レビュー	
13	生薬の総合テスト	生薬の総合試験
14	漢方薬のレビュー	
15	定期試験	漢方薬の総合試験

科目名	メイクアップ実技基礎 I		担当教員	岩田 弘子		単位数	2	
対象学科	くすり・調剤事務		学年	1年	授業形態	演習	法令等指定	
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	ビューティアドバイザーとして14年勤務。その後 JMA 日本メイクアップビ技術検定協会の認定講師となり検定業務、セミナー活動。心と身体を元気にするメイクの力を伝えていきます。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 美容に関連する基礎的技術を、実技を通して学び、習得する科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ・セルフメイク実習することにより、好印象メイクができるようになる。 ・技術者として身だしなみや基礎技術が身につく実践に結びつく。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ・好印象メイクができるようになる。 ・メイクをするための技術を習得する。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				20	実習により技術力を養うが、評価は試験だけでなく普通の授業の中での技術も含める。(取り組み方なども考慮する)  <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ メイクの基礎知識と技術を学び自分自身をイメージどおりにできる技術を養いましょう。 メイクの楽しさを学びバリエーションを増やしましょう。  <input type="checkbox"/> ご自身のメイク道具も持参			
試験等	提出物		10					
	レポート		-					
	随時試験		-					
	定期試験		50					
	平常の授業状況(授業態度)		20					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト 日本メイクアップ知識検定試験ベーシック					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	好印象メイクとは	好印象メイクデモンストレーション、メイク道具の使い方 セッティング方法
2	自分の顔を知る	自分の顔のバランスチェック、印象チェック
3	メイクの仕上がりを倍増させるスキンケア	皮膚の構造、働きを知り、最適なお手入れの方法を実習
4	肌を育てるスキンケア	クレンジング、化粧水、乳液などの基本的なお手入れの方法 実習、ベースメイクづくり
5	ハロウィンメイク	仮装メイクで色になれ、大胆な想像力を養う
6	好印象なベースメイク	デモンストレーションを見て実習 メイクアップアイテムの種類と使用方法
7	美眉の作り方	流行に左右されない、眉のルール、描き方 実習
8	印象をアップさせるアイメイク	アイシャドウの色選び、道具の使い方、グラデーションの描き方、 アイライン、マスカラ 実習
9	イキイキした印象を作るチーク&リップ	チークのつける位置、つけ方、色の選び方、 リップの色の選び方、描き方
10	ハイライト、ローライト	ハイライト、ローライト、使用方法、バリエーション
11	トータルメイク	ベースメイク～メイクアップ
12	イメージメイク (キュート)	キュートなイメージを与える色の選び方、ラインの描き方、 ベースの作り方
13	イメージメイク (エレガント)	エレガント、知的なイメージの色の選び方、ラインの描き方 ベースの作り方
14	セルフメイクトータルレッスン	基本プロポーションにあったメイクを30分で完成させる練習
15	定期試験	

科目名	メイクアップ実技基礎Ⅱ		担当教員	岩田 弘子		単位数	4	
対象学科	くすり・調剤事務		学年	1年	授業形態	演習	法令等指定	
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	ビューティアドバイザーとして14年勤務。その後 JMA 日本メイクアップ技術検定協会の認定講師となり検定業務、セミナー活動。心も身体も元気になるメイクの力を伝えていきます。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 美容に関連する基礎的技術を、実技を通して学び、習得する科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ・実習することにより、学習した知識をより深めることが出来る。 ・相モデルで実習することにより、即実践に結びつく。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ・人の顔に触れたりメイクしたりすることに慣れること ・メイクをするための技術を習得すること								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				20	実習により技術力を養うが、評価は試験だけでなく普段の授業の中での技術も含める。(取り組み方なども考慮する)  <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 自分の顔と人の顔を触るのは全く違う感覚なので、実習により慣れ、人の顔にメイクが出来るようになりましょう。 コミュニケーション上手になりましょう。  <input type="checkbox"/> ご自身のメイク道具も持参			
試験等	提出物		-					
	レポート		-					
	随時試験		-					
	定期試験		50					
	平常の授業状況(授業態度)		30					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				
日本メイクアップ技術検定試験3級2級								

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ビューティアドバイザーの仕事とは。	ビューティアドバイザーの仕事について。挨拶、マナー
2	メイクアップセッティング	メイクアップツール、テーブルセッティング、ケープかけレッスン
3	スキンケア基本 I	メイクの手順、スキンケアデモストレーション、実習演習(ドールレッスン)
4	スキンケア基本 I	セッティング～ポイントクレンジング
5	スキンケア基本 II	セッティング～全体クレンジング(ドールレッスン)
6	スキンケア基本 II	セッティング～全体クレンジング 相モデル
7	スキンケア基本 III	スキンケアテクニク、化粧水、ドールレッスン
8	スキンケア基本 III	スキンケアテクニク、化粧水、グループレッスン
9	メーキャップ基本 I	スキンケア～ベースメイクトータルレッスン(ドール)
10	メーキャップ基本 I	スキンケア～ベースメイクグループレッスン
11	メーキャップ基本 II	セッティング～ベースメイク(セルフメイク)
12	メーキャップ基本 II	ベースメイクバリエーション、相モデル
13	ポイントメイク基本 I	眉、ポイントメイクの手技、技術習得 セルフ
14	ポイントメイク基本 I	眉、ポイントメイクの手技、技術習得 相モデル
15	ポイントメイク応用	眉、ポイントメイクバリエーション(ドール)

16	ポイントメイク応用	眉、ポイントメイクバリエーション、相モデル
17	ポイントメイク基本 II	リップ、チークの手技、技術習得（ドール）
18	ポイントメイク基本 II	リップ、チークの手技、技術習得、相モデル
19	好印象メイク	基本の好印象メイク技術、セルフ、ドールレッスン
20	好印象メイク	基本の好印象メイク技術、相モデル
21	メイクアップ応用 I	イメージメイク（キュートメイク）ドールレッスン
22	メイクアップ応用 I	イメージメイク（キュートメイク）相モデル
23	メイクアップ応用 II	イメージメイク（クールメイク）ドールレッスン
24	メイクアップ応用 II	イメージメイク（クールメイク）相モデル
25	メイクアップ対応レッスン	トータルレッスン（スキンケア～イメージメイク）
26	メイクアップ対応レッスン	トータルレッスン（スキンケア～イメージメイク）
27	修正メイクアップ I	顔型、顔バランス修正
28	修正メイクアップ I	目元、眉、口元修正
29	メイクアップ対応	相モデルによるメイクアップ、スピードアップ演習
30	定期試験	

科目名	美容知識		担当教員	岩田 弘子		単位数	4
対象学科	くすり・調剤事務		学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期
実務経験教員	○	実務経験内容	ビューティアドバイザーとして14年勤務。その後JMA日本メイクアップビ技術検定協会の認定講師となり検定業務、セミナー活動。心と身体を元気にするメイクの力を伝えていきます。				
<input type="checkbox"/> 位置付け メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ全般の知識を習得する科目である。							
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ・美容の基本的な基礎知識を習得し、的確なアドバイスできるようになる ・美容の接客マナーを習得し、実践力をつける							
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ・美容についてアドバイスするために必要な基礎知識を習得 ・メイクアップ知識検定ベーシック合格を目指す							
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況			20	定期試験だけでなく授業態度、出席状況や提出物など総合的に評価します。 目標をもって取り組みましょう。  <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 基本的な知識が身に付き、自分自身のスキンケアの向き合い方も変化し肌状態も良くなります。 アドバイスもできるようになり自信がつけます。			
試験等	提出物		10				
	レポート		-				
	随時試験		-				
	定期試験		50				
	平常の授業状況（授業態度）		20				
その他（ ）			-				
合計			100%				
<input type="checkbox"/> テキスト 日本メイクアップ知識検定試験ベーシック公式テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	メイクアップ知識検定について	メイクアップ知識検定とは、検定の対策について
2	メイクアップツール	顔パーツの名称、肌の触り方、フィンガーワーク メイクアップツール、練習問題
3	顔分析	基本のプロポーション、子供顔と大人顔 練習問題、
4	顔分析	基本のプロポーション、子供顔と大人顔、応対レッスン
5	皮膚の構造やしぐみ	表皮、真皮、皮下組織の構造、しぐみ、練習問題
6	皮膚の構造やしぐみ	表皮、真皮、皮下組織の構造、しぐみ、応対レッスン
7	季節と肌	季節ごとの肌変化、タイプ別お手入れ方法、練習問題
8	季節と肌	季節ごとの肌変化、タイプ別お手入れ方法、応対レッスン
9	肌トラブルの原因、改善方法	スキンケアの目的、肌トラブルの原因、改善方法、練習問題
10	肌トラブルの原因、改善方法	スキンケアの目的、肌トラブルの原因、改善方法、応対レッスン
11	スキンケアの基本	スキンケアの種類と特徴、練習問題
12	スキンケアの基本	スキンケアの種類と特徴、応対レッスン
13	メイクアップの基礎知識	色の認識、色のイメージ、効果、練習問題
14	メイクアップの基礎知識	色の認識、色のイメージ、効果、応対レッスン
15	ベースメイク理論	ベースメイクの目的、種類、練習問題

16	ベースメイク理論	ベースメイクの目的、種類、応対レッスン
17	ポイントメイク理論 I	アイシャドー、アイライン、アイライナー、ビューラーの目的、種類、効果、練習問題
18	ポイントメイク理論 I	アイシャドー、アイライン、アイライナー、ビューラーの目的、種類、効果、応対レッスン
19	ポイントメイク理論 II	チーク、リップの目的、練習問題
20	ポイントメイク理論 II	チーク、リップの目的、応対レッスン
21	ポイントメイク理論 III	ハイライト、ローラライト目的 練習問題
22	ポイントメイク理論 III	ハイライト、ローラライト目的 応対レッスン
23	修正メイク	顔型、顔バランス修正、練習問題
24	修正メイク	顔型、顔バランス修正、応対レッスン
25	トレンドメイク	トレンド研究
26	トレンドメイク	トレンドメイク 応対レッスン
27	メイクアップ知識検定対策	練習問題で基礎理論の復習
28	メイクアップ知識検定対策	基礎知識の問題の傾向と対策
29	トータル応対レッスン	カウンセリング～クイックメイク
30	定期試験	

科目名	POP広告デザイン演習 I			担当教員	袴田 愛理		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	店舗のロゴタイプ及び販促物のグラフィックデザインと8年間の月刊誌等での造形指導の経験をもとに、現場で役立つ技能を基礎から教授します。					
<b>□位置付け</b> 広告デザインの基礎知識を理論的に理解して効果的なPOP広告について学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告宣伝デザインの基礎を学ぶ。</li> <li>・ 実技課題を制作して体得する。</li> <li>・ 職場でのコミュニケーションツールとしてのPOP広告(Point of purchase advertising)を理解する。</li> </ul>								
<b>□授業の到達目標</b> POP広告の基礎を実技と共に学び、職場で生かせる技術を習得することを目的とする。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				30	試験は随時授業ごとの確認テストを行います。			
試験等	提出物				<b>□学生へのメッセージ</b> デザイン造形の未経験者でも、楽しく制作をしながら理解していくことができます。私も皆さんと授業ができるのを楽しみにしています。			
	レポート							
	随時試験			30				
	定期試験			40				
	平常の授業状況 ( )							
その他 ( )								
合計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
「POP広告実技講座」一般法人 公開経営指導協会					テーマに応じてその都度指示する。			

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	概論
2	POP広告の基本要素	目的と役割
3	イラスト・カットの活用法	基本的な描き方
4	広告コピーの基本	関係用語とキャッチフレーズ
5	作成用具	画材と用紙
6	POP広告の種類と表現方法①	プライスカード
7	POP広告の種類と表現方法②	ショーカード
8	POP広告の種類と表現方法③	シーズンポップ
9	色彩研究演習①	色彩の基本と配色
10	色彩研究演習②	目的に合った表現
11	色彩心理の活用	色が与える印象
12	店舗の機能とPOP広告	売場の販売促進機能
13	店舗陳列の基本	陳列の種類と基本原則
14	快適な空間計画	ユニバーサルデザインとバリアフリー
15	定期試験	

く す り ・ 調 剤 事 務 科      2 年 生

くすり・調剤事務科 2024年度生カリキュラム

科目区分		科目名	授業形態	1年次		2年次		合計	
履修方法	科目内容			単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
登録指定科目	基礎科目	社会人基礎Ⅰ	講義	2	30			2	30
		社会人基礎Ⅱ	講義	2	30			2	30
		パソコン演習Ⅰ	演習	2	30			2	30
		パソコン演習Ⅱ	演習	2	30			2	30
		パソコン演習Ⅲ	演習			2	30	2	30
		パソコン演習Ⅳ	演習			2	30	2	30
		サービス接遇Ⅰ	講義	2	30			2	30
		サービス接遇Ⅱ	講義	2	30			2	30
		キャリアデザインⅠ	演習	2	30			2	30
		キャリアデザインⅡ	演習	2	30			2	30
		キャリアデザインⅢ	演習			2	30	2	30
		キャリアデザインⅣ	演習			2	30	2	30
	専門科目	医薬品基礎(人体の構造)	講義	2	30			2	30
		医薬品基礎(基礎と安全対策)	講義	2	30			2	30
		医薬品基礎(作用Ⅰ)	講義	2	30			2	30
		医薬品基礎(作用Ⅱ)	講義	2	30			2	30
		医薬品基礎(作用Ⅲ)	講義	2	30			2	30
		医薬品基礎(関係法規)	講義	2	30			2	30
		健康食品の知識Ⅰ	講義	2	30			2	30
		健康食品の知識Ⅱ	講義	2	30			2	30
		調剤事務Ⅰ	講義	2	30			2	30
		調剤事務Ⅱ	講義	2	30			2	30
		調剤事務Ⅲ	講義			2	30	2	30
		医薬品応用(基礎と人体の構造)	講義			2	30	2	30
		医薬品応用(作用Ⅰ)	講義			2	30	2	30
		医薬品応用(作用Ⅱ)	講義			2	30	2	30
		医薬品応用(作用Ⅲ)	講義			2	30	2	30
		医薬品応用(関係法規)	講義			2	30	2	30
		医薬品応用(安全対策)	講義			2	30	2	30
		医薬品応用(演習)	演習			2	30	2	30
		現場で役立つOTC薬の応対	講義			2	30	2	30
		東洋医学概論	講義	2	30			2	30
		病気とヘルスケアⅠ	講義	2	30			2	30
		病気とヘルスケアⅡ	講義	2	30			2	30
漢方の知識	講義	2	30			2	30		
販売士の知識Ⅰ	講義			2	30	2	30		
販売士の知識Ⅱ	講義			2	30	2	30		
販売士の知識Ⅲ	講義			2	30	2	30		
薬局・薬店実習	実習			1	30	1	30		
メイクアップ実技基礎Ⅰ	演習	2	30			2	30		
メイクアップ実技基礎Ⅱ	演習	2	30			2	30		
メイクアップ実技基礎Ⅲ	演習	2	30			2	30		
メイクアップ実技基礎Ⅳ	演習	2	30			2	30		

くすり・調剤事務科 2024年度生カリキュラム

科目区分		科目名	授業形態	1年次		2年次		合計	
履修方法	科目内容			単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
登録指定科目	専門科目	メイクアップ実技応用Ⅰ	演習			2	30	2	30
		メイクアップ実技応用Ⅱ	演習			2	30	2	30
		メイクセラピーⅠ	演習	2	30			2	30
		メイクセラピーⅡ	演習	2	30			2	30
		化粧品の成分学	演習			2	30	2	30
	関連科目	手話Ⅰ	演習			2	30	2	30
		手話Ⅱ	演習			2	30	2	30
		現場で使える外国語	演習			2	30	2	30
		POP広告デザイン演習Ⅰ	演習	2	30			2	30
		POP広告デザイン演習Ⅱ	演習	2	30			2	30
		売り場のグラフィックデザイン演習	演習			2	30	2	30
		介護保険制度の仕組みと流れⅠ	演習	2	30			2	30
		介護保険制度の仕組みと流れⅡ	演習	2	30			2	30
		介護レクリエーション演習	演習			2	30	2	30
		病院の仕組みと流れⅠ	講義			2	30	2	30
		病院の仕組みと流れⅡ	講義			2	30	2	30
		合計				64	960	53	810

※くすり・調剤事務科の卒業には、修業年限以上在学し、1700時間相当の単位数の修得が必要

科目名	パソコン演習Ⅲ			担当教員	江畑 里絵		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	システムエンジニアとして5年間システム開発会社に勤務。顧客へのシステム導入経験をもとにシステム活用に必要な知識を丁寧に指導していく。					
<b>□位置付け</b> 社会人として必要なマイクロソフトオフィスアプリケーションに関する知識を学び、活用することで実践的な技術を身につける科目である								
<b>□授業の目的</b> 社会人基礎力としてのパソコンの活用方法を習得し、職場のコンピュータ環境に対応できるようコンピュータリテラシーの知識を身につける。								
<b>□授業の到達目標</b> 1. 1年次の学習内容を復習し、テキストなどを参照せずにワープロソフト「Microsoft Word」・表計算ソフト「Microsoft Excel」・プレゼンテーションソフト「Microsoft PowerPoint」の基本操作が行えるようになること 2. タッチタイピングによる正確なキーボード入力のスキルアップを目指す								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				5	試験、出席状況、授業への参加度などを対象として総合的に評価します。  <b>□学生へのメッセージ</b> 現場の要求に応じ、的確なドキュメントが作成できるよう、ビジネスシーンを想定した問題にも取り組んでもらいます。			
試験等	提出物			30				
	レポート			-				
	随時試験			-				
	定期試験			60				
	平常の授業状況 ( )			5				
その他 ( )			-					
合計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
「情報リテラシー 総合編 Windows 11 / Office 2021 対応」FOM 出版								

### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ガイダンス	授業の目的と進め方、ファイルの基本操作
2	Word 基礎 復習①	簡単な文書作成
3	Word 基礎 復習②	表入りのビジネス文書
4	Word 基礎 復習③	図入りのちらし、SmartArt の利用
5	Excel 基礎 復習①	基本的な関数・絶対参照が入った表作成
6	Excel 基礎 復習②	グラフ作成
7	Excel 基礎 復習③	データベース機能
8	PowerPoint 基礎 復習①	文字・図・SmartArt 入りのスライド作成、アニメーション設定
9	PowerPoint 基礎 復習②	表・グラフ入りのスライド作成
10	PowerPoint 発表会準備①	発表会用作品制作
11	PowerPoint 発表会準備②	〃
12	PowerPoint 発表会準備③	〃
13	PowerPoint 発表会①	作品発表会
14	PowerPoint 発表会②	〃
15	定期試験	テーマに応じたドキュメントを作成

科目名	パソコン演習Ⅳ			担当教員	江畑 里絵		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	システムエンジニアとして5年間システム開発会社に勤務。顧客へのシステム導入経験をもとにシステム活用に必要な知識を丁寧に指導していく。					
<b>□位置付け</b> 社会人として必要なマイクロソフトオフィスアプリケーションに関する知識を学び、活用することで実践的な技術を身につける科目である								
<b>□授業の目的</b> 社会人基礎力としてのパソコンの活用方法を習得し、職場のコンピュータ環境に対応できるようコンピュータリテラシーの知識を身につける。								
<b>□授業の到達目標</b> 1. 情報化社会の中での、モラルやセキュリティについて理解する。 2. ホームページ作成について理解する。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				20	試験、出席状況、授業への参加度などを対象として総合的に評価します。  <b>□学生へのメッセージ</b> 社内データの扱いには十分注意が必要になってきます。その為の知識をしっかりと身につけてください。			
試験等	提出物		60					
	レポート		-					
	随時試験		-					
	定期試験		-					
	平常の授業状況 ( )		20					
その他 ( )				-				
合計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
「情報リテラシー 総合編 Windows 11 / Office 2021 対応」FOM 出版								

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ガイダンス	授業の目的と進め方
2	情報モラル&セキュリティ①	個人情報と著作権
3	情報モラル&セキュリティ②	メール、Web によるコミュニケーション
4	情報モラル&セキュリティ③	モバイル機器の活用と管理
5	PowerPoint で動画を作成しよう	PowerPointで作成したスライドを動画ファイルに変換する
6	Web ページを作成しよう①	HTMLの基本
7	Web ページを作成しよう②	トップページを作成
8	Web ページを作成しよう③	トップページを編集
9	Web ページを作成しよう④	サブページを作成
10	Web ページを作成しよう⑤	リンクを設定
11	Web ページを作成しよう⑥	オリジナル Web ページの作成
12	Web ページを作成しよう⑦	
13	Web ページを作成しよう⑧	
14	Web ページを作成しよう⑨	
15	Web ページを作成しよう⑩	

科目名	キャリアデザインⅢ			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	基礎科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 年間の運営計画に基づくクラス活動（ホームルーム）で、学生とクラス担当が学年、学期ごとの学習目標や学校生活上の課題の解決を図りながら、円滑にコミュニケーションを維持、増進する時間である。また、キャリアサポートプログラム（WCSP）による就職活動を含む進路選択の支援、指導などを行う科目である。								
<b>□授業の目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活と日常の学習及び検定、就職活動などに関わる連絡事項の周知徹底。</li> <li>・就職活動に必要な情報提供と実地練習などによる就職活動支援。</li> <li>・クラス担任による学習及び学校生活、就職活動などの日常指導、また課外活動や学校行事の参加準備。</li> </ul>								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸連絡事項をタイムリーに正確に伝達し、クラス全員に周知徹底する。</li> <li>・キャリアサポートセンターと協力した就職活動の支援、指導により、学生の希望する就職内定を実現する。</li> <li>・学習及び学校生活、就職活動などの日常指導を適宜実施し、課外活動や学校行事などにも協力して取り組む。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>		評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>				
出席状況			40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。</li> <li>・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。</li> </ul>				
試験等	提出物			<b>□学生へのメッセージ</b> 就職活動、検定試験と2年間で一番多忙な時期です。計画的に準備を進めていきましょう。				
	作文							
	随時試験							
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）		60					
	その他（ ）							
合 計			100%					
<b>□テキスト</b>				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	キャリアサポートプログラム①	1年次振り返りと前期目標設定・就職活動状況確認
2	キャリアサポートプログラム②	内定後の書類提出等の確認・就職活動状況確認
3	企業説明会①	薬局・薬店企業校内説明会
4	企業説明会②	薬局・薬店企業校内説明会
5	学級運営	諸連絡・クラス委員決め
6	資格試験対策①	資格試験対策
7	資格試験対策②	資格試験対策
8	授業アンケート	
9	資格試験対策③	資格試験対策
10	資格試験対策④	資格試験対策
11	学校行事準備	体育祭準備
12	キャリアサポートプログラム③	前期の振り返り・夏休みの計画作成・就職活動状況確認
13	1・2年生合同授業	内定者報告会
14	資格試験対策⑤	資格試験対策
15	資格試験対策⑥	資格試験対策

科目名	キャリアデザインⅣ			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 年間の運営計画に基づくクラス活動（ホームルーム）で、学生とクラス担当が学年、学期ごとの学習目標や学校生活上の課題の解決を図りながら、円滑にコミュニケーションを維持、増進する時間である。また、キャリアサポートプログラム（WCSP）による就職活動を含む進路選択の支援、指導などを行う科目である。								
<b>□授業の目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活と日常の学習及び検定、就職活動などに関わる連絡事項の周知徹底。</li> <li>・就職活動に必要な情報提供と実地練習などによる就職活動支援。</li> <li>・クラス担任による学習及び学校生活、就職活動などの日常指導、また課外活動や学校行事の参加準備。</li> <li>・工場見学や講座を通して社会人として必要となる知識の習得。</li> </ul>								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸連絡事項をタイムリーに正確に伝達し、クラス全員に周知徹底する。</li> <li>・キャリアサポートセンターと協力した就職活動の支援、指導により、学生の希望する就職内定を実現する。</li> <li>・学習及び学校生活、就職活動などの日常指導を適宜実施し、課外活動や学校行事などにも協力して取り組む。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>		評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>				
出席状況			40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。</li> <li>・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。</li> </ul>				
試験等	提出物			<b>□学生へのメッセージ</b> 工場見学や講座などを適宜実施します。学生のうちに多くの知識を身に付けていきましょう。				
	作文							
	随時試験							
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）		60					
	その他（ ）							
合計			100%					
<b>□テキスト</b>				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	キャリアサポートプログラム①	前期の振り返りと後期目標設定
2	スキルアッププログラム①	社会人として必要となる様々な知識を学ぶ
3	スキルアッププログラム②	〃
4	スキルアッププログラム③	〃
5	スキルアッププログラム④	〃
6	学校行事準備①	学園祭準備
7	学校行事準備②	〃
8	授業アンケート	
9	スキルアッププログラム⑤	社会人として必要となる様々な知識を学ぶ
10	スキルアッププログラム⑥	〃
11	スキルアッププログラム⑦	〃
12	スキルアッププログラム⑧	〃
13	スキルアッププログラム⑨	〃
14	スキルアッププログラム⑩	〃
15	キャリアサポートプログラム②	後期の振り返りと社会人としての目標設定

科目名	調剤事務Ⅲ			担当教員	内藤 麻紀		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医療事務員として、クリニックにて3年間勤務。院内処方クリニックでの経験を活かして分かりやすく丁寧に教授する。					
<b>□位置付け</b> 調剤薬局業務に必要な、医療保険制度、調剤報酬請求の算定方法、レセプト作成、関連法規などを学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> 調剤事務員として勤務するために欠かせない医療保障制度などの知識を習得し、調剤報酬レセプトを作成する技術を身につける。								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保険制度を理解する。</li> <li>・調剤報酬請求の算定方法を理解する。</li> <li>・調剤報酬レセプトを正確に作成する知識を身につける。</li> <li>・調剤事務管理士技能認定試験合格。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>		評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>				
出席状況			20	定期試験だけでなく、授業態度、出席状況を総合的に評価します。積極的に参加しましょう。				
試験等	提出物		—	<b>□学生へのメッセージ</b> 調剤事務Ⅰ・Ⅱで学んだ事を、レベルアップしていき、調剤事務管理士技能認定試験合格を目指しましょう。				
	作文		—					
	随時試験		—					
	定期試験		60					
	平常の授業状況 ( )		20					
	その他 ( )		—					
合 計			100%					
<b>□テキスト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調剤薬局事務講座1～3</li> <li>・資料ブック・薬価表</li> <li>・調剤報酬明細書</li> <li>・調剤事務管理士技能認定試験模擬問題集</li> </ul>				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	調剤事務Ⅰ・Ⅱの復習
2	試験対策①	模擬問題集演習・解答解説
3	試験対策②	〃
4	試験対策③	〃
5	試験対策④	〃
6	試験対策⑤	〃
7	試験対策⑥	〃
8	試験対策⑦	〃
9	試験対策⑧	〃
10	試験対策⑨	〃
11	試験対策⑩	〃
12	試験対策⑪	〃
13	試験対策⑫	〃
14	試験対策⑬	〃
15	定期試験	

科目名	医薬品応用（基礎と人体の構造）			担当教員	渋谷 大樹		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 医薬品の人体への作用をより理解するため、人体の構造と働きを学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> 厚生労働省の「試験実施ガイドライン」に沿った出題形式で、登録販売者・練習問題（第1、2章）を解き、解答・解説を理解することで、本試験の傾向や重要度を、効果的・重点的に学習する。								
<b>□授業の到達目標</b> 実践的な試験問題に挑戦することで、最終的に登録販売者試験の合格レベルに到達することを目標にする。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況					随時行われる試験で7割以上(合格基準)正答することで単位を認める。7割に満たない場合は夏季に行われる対策講座への出席等で単位を与える。			
試験等	提出物				<b>□学生へのメッセージ</b> 登録販売者はドラッグストア、調剤事務どちらにおいても重要な資格です。取得できるように繰り返し勉強しましょう。			
	作文							
	随時試験			84				
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）							
その他（合格基準以上）			16					
合計			100%					
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
					・登録販売者試験 過去問題集			

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	問題演習①	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
2	問題演習②	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
3	問題演習③	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
4	問題演習④	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
5	問題演習⑤	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
6	問題演習⑥	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
7	問題演習⑦	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
8	問題演習⑧	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
9	問題演習⑨	登録販売者1章・2章の問題演習と解説
10	問題演習⑩	登録販売者試験の問題演習と解説
11	随時試験	1章から5章までの問題演習
12	問題演習⑪	登録販売者試験の問題演習と解説
13	問題演習⑫	登録販売者試験の問題演習と解説
14	問題演習⑬	登録販売者試験の問題演習と解説
15	随時試験	1章から5章までの問題演習

科目名	医薬品応用（作用Ⅰ）			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<b>□位置付け</b> 医薬品の人体に対する主作用、副作用などについて、登録販売者試験に合格できるレベルの内容を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> 登録販売者試験の模擬問題を演習しながら、一般用医薬品の知識を身に付けるとともに、登録販売者試験に合格をすることを目的としている。								
<b>□授業の到達目標</b> 登録販売者試験において、関連する問題の正答率80%以上に到達する								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。</li> <li>・定期試験は、過去問題を中心とした範囲から出題します。</li> <li>・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。</li> </ul>			
試験等	提出物							
	作文							
	随時試験							
	定期試験			60				
	平常の授業状況（ ）			20				
その他（ ）					<b>□学生へのメッセージ</b> 模擬問題を通して、登録販売者試験に合格して、就職後に役に立つ医薬品の知識を身に付けましょう			
合計				100%				
<b>□テキスト</b> 登録販売者試験対策 共通テキスト・下巻				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	過去問演習①	登録販売者試験（第3章）過去問演習 解説
2	過去問演習②	〃
3	過去問演習③	〃
4	過去問演習④	〃
5	過去問演習⑤	〃
6	過去問演習⑥	〃
7	過去問演習⑦	〃
8	過去問演習⑧	〃
9	過去問演習⑨	〃
10	過去問演習⑩	〃
11	過去問演習⑪	〃
12	過去問演習⑫	〃
13	過去問演習⑬	〃
14	過去問演習⑭	〃
15	定期試験	定期試験

科目名	医薬品応用（作用Ⅱ）			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<b>□位置付け</b>								
医薬品の人体に対する主作用、副作用などについて、登録販売者試験に合格できるレベルの内容を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b>								
登録販売者試験の模擬問題を演習しながら、一般用医薬品の知識を身に付けるとともに、登録販売者試験に合格をすることを目的としている。								
<b>□授業の到達目標</b>								
登録販売者試験において、関連する問題の正答率80%以上に到達する。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。</li> <li>・随時試験は、過去問題を中心とした範囲から出題します。</li> <li>・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。</li> </ul>			
試験等	提出物							
	作文							
	随時試験			50				
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）			20				
その他（ ）					<b>□学生へのメッセージ</b>			
合計				100%	模擬問題を通して、登録販売者試験に合格して、就職後に役に立つ医薬品の知識を身に付けましょう			
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			
登録販売者試験対策 共通テキスト・下巻								

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	過去問演習①	登録販売者試験（第3章）過去問演習 解説
2	過去問演習②	〃
3	過去問演習③	〃
4	過去問演習④	〃
5	随時試験	随時試験と解説
6	過去問演習⑤	登録販売者試験（第3章）過去問演習 解説
7	過去問演習⑥	〃
8	過去問演習⑦	〃
9	過去問演習⑧	〃
10	過去問演習⑨	〃
11	過去問演習⑩	〃
12	過去問演習⑪	〃
13	過去問演習⑫	〃
14	過去問演習⑬	〃
15	定期試験解説	定期試験解説

科目名	医薬品応用（作用Ⅲ）			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<b>□位置付け</b>								
医薬品の人体に対する主作用、副作用などについて、登録販売者試験に合格できるレベルの内容を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b>								
登録販売者試験の模擬問題を演習しながら、一般用医薬品の知識を身に付けるとともに、登録販売者試験に合格をすることを目的としている。								
<b>□授業の到達目標</b>								
登録販売者試験において、関連する問題の正答率80%以上に到達する								
<b>□成績評価の方法</b>								
評価項目			割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>				
出席状況			30	・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。 ・随時試験は、過去問題を中心とした範囲から出題します。 ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。				
試験等	提出物			<b>□学生へのメッセージ</b> 模擬問題を通して、登録販売者試験に合格して、就職後に役に立つ医薬品の知識を身に付けましょう				
	作文							
	随時試験		50					
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）		20					
その他（ ）								
合計			100%					
<b>□テキスト</b> 登録販売者試験対策 共通テキスト・下巻				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	過去問演習①	登録販売者試験（第3章）過去問演習 解説
2	過去問演習②	〃
3	過去問演習③	〃
4	過去問演習④	〃
5	過去問演習⑤	〃
6	過去問演習⑥	〃
7	過去問演習⑦	〃
8	過去問演習⑧	〃
9	過去問演習⑨	〃
10	随時試験	随時試験と解説
11	過去問演習⑩	登録販売者試験（第3章）過去問演習 解説
12	過去問演習⑪	〃
13	過去問演習⑫	〃
14	過去問演習⑬	〃
15	過去問演習⑭	〃

前科目名	医薬品応用(関係法規)			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					

**□位置付け**

医薬品関連業務上必要な医薬品関連法規と制度（医薬品医療機器法等）について学ぶ科目である。

**□授業の目的**

登録販売者試験（第4章）の要点を学習する。また、厚生労働省の「試験実施ガイドライン」に沿った出題形式で、登録販売者・練習問題（第4章）を解き、解答・解説を理解することで、本試験の傾向や重要度を効果的・重点的に学習する。

**□授業の到達目標**

登録販売者試験において、関連する問題の正答率80%以上に到達する。

**□成績評価の方法**

評価項目

割合

出席状況

10

試験等

提出物

レポート

随時試験

定期試験

平常の授業状況（ ）

その他（ ）

合計

20

60

10

100%

**□成績評価に関するコメント**

- ・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。
- ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。
- ・試験は、過去問題を中心とした範囲で出題します。

**□学生へのメッセージ**

医薬品の陳列方法や販売方法なども薬機法により厳格に定められています。実際に薬局・薬店で確かめて、体験し、薬機法を身近に感じてください。

**□テキスト**

- ・登録販売者試験受験対策 共通テキスト 上巻

**□参考図書・資料・参考ホームページ**

- ・登録販売者試験 過去問題集

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	第4章要点まとめ①	医薬品の定義/分類/取り扱い
2	第4章要点まとめ②	化粧品/医薬部外品/食品
3	第4章要点まとめ③	医薬品の販売業の種類/許可行為
4	第4章要点まとめ④	リスク区分に応じた販売方法/情報提供
5	第4章要点まとめ⑤	店舗等における掲示/特定販売
6	第4章要点まとめ⑥	行政庁の監視指導等
7	第4章要点まとめ⑦	1～6回の振り返り
8	随時試験	第4章の問題演習・まとめ
9	過去問演習①	登録販売者試験（第4章）過去問演習 解説
10	過去問演習②	〃
11	過去問演習③	〃
12	過去問演習④	〃
13	過去問演習⑤	〃
14	過去問演習⑥	〃
15	定期試験	第4章の総合問題

前科目名	医薬品応用(安全対策)			担当教員	清水 之雅		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医薬品登録販売者として3年間勤務。医薬品に関する接客応対や売場作成に従事。実務に即した専門知識と経験を基に、実践的な指導を行う。					
<input type="checkbox"/> <b>位置付け</b> 医薬品の特性とその安全性について学ぶ科目である。								
<input type="checkbox"/> <b>授業の目的</b> 厚生労働省の「試験実施ガイドライン」に沿った出題形式で、登録販売者・練習問題（第5章）を解き、解答・解説を理解することで、本試験の傾向や重要度を効果的・重点的に学習する。								
<input type="checkbox"/> <b>授業の到達目標</b> 登録販売者試験において、関連する問題の正答率80%以上に到達する。								
<input type="checkbox"/> <b>成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> <b>成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				10	・出席状況は、規定時間数以上を出席することで評価します。 ・平時の授業状況は、授業へ取り組む姿勢、態度により評価します。 ・試験は、テキストを中心とした範囲で出題します。  <input type="checkbox"/> <b>学生へのメッセージ</b> 日頃、医薬品と接する際には、製品表示や添付文書を意識して見ることで、学習効率を高めていきましょう。			
試験等	提出物							
	レポート							
	随時試験			20				
	定期試験			60				
	平常の授業状況（ ）			10				
その他（ ）								
合計				100%				
<input type="checkbox"/> <b>テキスト</b>				<input type="checkbox"/> <b>参考図書・資料・参考ホームページ</b>				
・登録販売者試験受験対策 共通テキスト 上巻				・登録販売者試験 過去問題集				

**授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	第5章要点まとめ①	医薬品の適正使用/添付文書の読み方
2	第5章要点まとめ②	添付文書における使用上の注意
3	第5章要点まとめ③	製品表示の読み方/安全性情報/情報提供の活用
4	第5章要点まとめ④	医薬品の副作用情報の報告制度
5	第5章要点まとめ⑤	医薬品副作用被害救済制度
6	第5章要点まとめ⑥	医薬品に関する安全対策/啓発活動
7	第5章要点まとめ⑦	1～6回の振り返り
8	随時試験	第5章の問題演習・まとめ
9	過去問演習①	登録販売者試験（第5章）過去問演習 解説
10	過去問演習②	〃
11	過去問演習③	〃
12	過去問演習④	〃
13	過去問演習⑤	〃
14	過去問演習⑥	〃
15	定期試験	第5章の総合問題

科目名	医薬品応用（演習）			担当教員	渋谷 大樹		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<input type="checkbox"/> 位置付け 登録販売者試験領域の試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 登録販売者試験の過去問題の演習を通して、一般医薬品の知識を身に付けるとともに、登録販売者試験に合格することを目的にしている。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 登録販売者試験に合格できるレベルを到達目標としている。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況				随時行われる試験で7割以上(合格基準)正答することで単位を認める。7割に満たない場合は夏季に行われる対策講座への出席等で単位を与える。				
試験等	提出物			<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 登録販売者はドラッグストア、調剤事務どちらにおいても重要な資格です。取得できるように繰り返し勉強しましょう。				
	作文							
	随時試験		84					
	定期試験							
	平常の授業状況（ ）							
その他（合格基準以上）			16					
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ ・登録販売者試験 過去問題集				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	問題演習①	登録販売者試験の問題演習と解説
2	問題演習②	登録販売者試験の問題演習と解説
3	問題演習③	登録販売者試験の問題演習と解説
4	問題演習④	登録販売者試験の問題演習と解説
5	問題演習⑤	登録販売者試験の問題演習と解説
6	問題演習⑥	登録販売者試験の問題演習と解説
7	問題演習⑦	登録販売者試験の問題演習と解説
8	問題演習⑧	登録販売者試験の問題演習と解説
9	随時試験	1章から5章までの問題演習
10	問題演習⑨	登録販売者試験の問題演習と解説
11	問題演習⑩	登録販売者試験の問題演習と解説
12	問題演習⑪	登録販売者試験の問題演習と解説
13	問題演習⑫	登録販売者試験の問題演習と解説
14	随時試験	1章から5章までの問題演習
15	問題演習⑬	登録販売者試験の問題演習と解説

科目名	現場で役立つ OTC 薬の応対			担当教員	中村 博臣		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	薬剤師として、企業に 37 年間の医薬品関連の実務経験と 15 年間の教師としての実務経験をもとに OTC 薬についての授業を行います。					
<b>□位置付け</b> いままで学んできた一般用医薬品の知識を再確認し、それらの知識を活用して、実際の相談を想定しながら応対する技術を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> OTC 薬の基本を理解し、ケース応対の知識と技術を習得することを目標としている。								
<b>□授業の到達目標</b> ケース応対の際に、お客さまの症状に最適な OTC 薬が選択でき、かつ、わかりやすい説明ができるレベルを到達目標とする。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				20	提出物のほかに、出席状況、授業態度（積極的な発言など）により、総合的に評価します  <b>□学生へのメッセージ</b> OTC 薬に関する総合的な知識の集約ですので、就職後の業務に役立ててることができます			
試験等	提出物			30				
	レポート							
	随時試験							
	定期試験			30				
	平常の授業状況（ ）			20				
その他（ ）								
合計				100%				
<b>□テキスト</b> よくわかる一般用医薬品 (薬事日報ドーモ)					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	はじめに	添付文書の読み方、応対例作成の演習
2	アドレナリン作動成分、局所麻酔成分	使用上の注意
3	「ベンザ鼻炎スプレー」(点鼻薬)	応対例の作成、 <u>提出</u>
4	抗ヒスタミン成分、抗コリン成分	使用上の注意
5	「ガストール錠」(胃腸薬)	グループワークによる応対例の作成
6	〃	グループワークによる応対例の発表(提出)
7	鎮咳去痰成分、強心成分	使用上の注意
8	「救心」(強心薬)	グループワークによる応対例の作成
9	〃	グループワークによる応対例の発表(提出)
10	解熱鎮痛成分	各成分の違い、使用上の注意
11	「イブ」(解熱鎮痛薬)	応対例の作成、提出
12	かぜ薬	使用上の注意
13	〃	グループワークによる応対例の作成
14	〃	グループワークによる応対例の発表(提出)
15	定期試験	かぜ薬の応対例作成、提出

科目名	販売士の知識 I			担当教員	鈴木 啓悟		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	研修・人材コンサルティング会社を30年経営。医薬業界の指導実績多数。資格保有者（登録販売者、NRサプリメントアドバイザー）として実践指導を重視する。					
<b>□位置付け</b> 流通・販売分野における店舗管理、販売・経営管理、マーケティングなどの基本を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> ここ数年、地域の生活者のプラットフォームとしてのコンビニやドラッグストア、調剤薬局、化粧品専門店などの健康産業の果たすべき役割が重要になっています。そこで今後は、小売業に従事する担当者・販売員は販売技術だけでなく、消費者動向を読み取る能力なども身に付ける必要があります。この授業では、小売業を運営する基本的な仕組み、販売員としての基礎的な知識を体系的に学びます。								
<b>□授業の到達目標</b> ①小売業を運営する基本的な仕組みを理解する ②販売員としての基礎的な知識を理解する ③販売士検定3級の受験資格を得て、合格を目標とする								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の出席状況は、規定時間数以上の出席をクリアすること</li> <li>・試験は、テキストを中心とした範囲で出題し、合格点数で成績評価します</li> </ul> <b>□学生へのメッセージ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの事前予習と復習をするとともに、日常生活で体験した事例を関連づけて、学習効果をより高めてください</li> </ul>			
試験等	提出物			—				
	レポート			—				
	随時試験							
	定期試験			50				
	平常の授業状況（ ）			—				
その他（ ）			—					
合計				100%				
<b>□テキスト</b> ・販売士ハンドブック（基礎編） リテールマーケティング販売士検定3級対応				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b> ・販売士検定3級 対策問題集（コピー対応） ・販売士検定3級 速習テキスト&問題集（ユーキャン自由国民社）				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	第1章 小売業の類型①	小売業の定義と役割①（+ビデオ講義）
2	小売業の類型②	小売業の定義と役割①（+ビデオ講義）
3	小売業の類型③	小売業の国際化（+ビデオ講義）
4	小売業の類型④	流通経路の基礎知識①（+ビデオ講義）
5	小売業の類型⑤	流通経路の基礎知識②（+ビデオ講義）
6	小売業の類型⑥	販売形態の種類と特徴①（+ビデオ講義）
7	小売業の類型⑦	販売形態の種類と特徴②（+ビデオ講義）
8	小売業の類型⑧	販売形態の種類と特徴②（+ビデオ講義）
9	小売業の類型⑨	業種と業態の違い①（+ビデオ講義）
10	小売業の類型⑩	チェーンストアの特徴①（+ビデオ講義）
11	小売業の類型⑪	商店街とSC①（+ビデオ講義）
12	小売業の類型⑫	チェーンストアの特徴③（+ビデオ講義）
13	小売業の類型⑬	商店街とSC①（+ビデオ講義）
14	小売業の類型⑭	商店街とSC②（+ビデオ講義）
15	定期試験	テキストの範囲を中心に出題します

科目名	販売士の知識Ⅱ			担当教員	鈴木 啓悟		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	授業期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	研修・人材コンサルティング会社を30年経営。医薬業界の指導実績多数。資格保有者（登録販売者、NRサプリメントアドバイザー）として実践指導を重視する。					
<b>□位置付け</b> 流通・販売分野における店舗管理、販売・経営管理、マーケティングなどの基本を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> ここ数年、地域の生活者のプラットフォームとしてのコンビニやドラッグストア、調剤薬局、化粧品専門店などの健康産業の果たすべき役割が重要になっています。そこで今後は、小売業に従事する担当者・販売員は販売技術だけでなく、消費者動向を読み取る能力なども身に付ける必要があります。この授業では、小売業を運営する基本的な仕組み、販売員としての基礎的な知識を体系的に学びます。								
<b>□授業の到達目標</b> ①小売業を運営する基本的な仕組みを理解する ②販売員としての基礎的な知識を理解する ③販売士検定3級の受験資格を得て、合格を目標とする								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				50	・授業の出席状況は、規定時間数以上の出席をクリアすること ・試験は、テキストを中心とした範囲で出題し、合格点数で成績評価します			
試験等	提出物				<b>□学生へのメッセージ</b> ・テキストの事前予習と復習をするとともに、日常生活で体験した事例を関連づけて、学習効果をより高めてください			
	作文							
	随時試験							
	定期試験			50				
	平常の授業状況（ ）							
その他（ ）								
合計				100%				
<b>□テキスト</b> ・販売士ハンドブック（基礎編） リテールマーケティング販売士検定3級対応				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b> ・販売士検定3級 対策問題集（コピー対応） ・販売士検定3級 速習テキスト&問題集（ユーキャン自由国民社）				

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	第3章ストアオペレーション①	ストアオペレーションの基本①
2	第3章ストアオペレーション②	ストアオペレーションの基本②
3	第3章ストアオペレーション③	包装時術の基本①（+ビデオ講義/実技）
4	第3章ストアオペレーション④	包装時術の基本②（+ビデオ講義/実技）
5	第3章ストアオペレーション⑤	ディスプレイの基本①（+ビデオ講義）
6	第3章ストアオペレーション⑥	ディスプレイの基本②（+ビデオ講義）
7	第4章マーケティング①	小売業のマーケティングの基本（+ビデオ講義）
8	第4章マーケティング②	顧客満足経営の基本①（+ビデオ講義）
9	第4章マーケティング③	顧客満足経営の基本②（+ビデオ講義）
10	第4章マーケティング④	商圏の設定と出店の基本①（+ビデオ講義）
11	第4章マーケティング⑤	商圏の設定と出店の基本②（+ビデオ講義）
12	第4章マーケティング⑥	リージョナルプロモーションの基本①（+ビデオ講義）
13	第4章マーケティング⑦	リージョナルプロモーションの基本②（+ビデオ講義）
14	第4章マーケティング⑧	顧客志向型売場づくりの基本（+ビデオ講義）
15	定期試験	テキストの範囲を中心に出題します

科目名	販売士の知識Ⅲ			担当教員	鈴木 啓悟		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	研修・人材コンサルティング会社を30年経営。医薬業界の指導実績多数。資格保有者（登録販売者、NRサプリメントアドバイザー）として実践指導を重視する。					
<b>□位置付け</b> 流通・販売分野における店舗管理、販売・経営管理、マーケティングなどの基本を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> ここ数年、地域の生活者のプラットフォームとしてのコンビニやドラッグストア、調剤薬局、化粧品専門店などの健康産業の果たすべき役割が重要になっています。そこで今後は、小売業に従事する担当者・販売員は販売技術だけでなく、消費者動向を読み取る能力なども身に付ける必要があります。この授業では、小売業を運営する基本的な仕組み、販売員としての基礎的な知識を体系的に学びます。								
<b>□授業の到達目標</b> ①小売業を運営する基本的な仕組みを理解する ②販売員としての基礎的な知識を理解する ③販売士検定3級の受験資格を得て、合格を目標とする								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				50	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の出席状況は、規定時間数以上の出席をクリアすること</li> <li>試験は、テキストを中心とした範囲で出題し、合格点数で成績評価します</li> </ul> <b>□学生へのメッセージ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>テキストの事前予習と復習をするとともに、日常生活で体験した事例を関連づけて、学習効果をより高めてください</li> </ul>			
試験等	提出物			—				
	レポート			—				
	随時試験							
	定期試験			50				
	平常の授業状況（ ）			—				
その他（ ）			—					
合計				100%				
<b>□テキスト</b> ・販売士ハンドブック（基礎編） リテールマーケティング販売士検定3級対応				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b> ・販売士検定3級 対策問題集（コピー対応） ・販売士検定3級 速習テキスト&問題集 （ユーキャン自由国民社）				

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	第2章マーチャンダイジング①	商品とは、商品分類と本体要素（＋ビデオ講義）
2	第2章マーチャンダイジング②	マーチャンダイジングの基本（＋ビデオ講義）
3	第2章マーチャンダイジング③	商品計画の基本と棚割（＋ビデオ講義）
4	第2章マーチャンダイジング④	仕入計画の基本と仕入先・仕入れ方法（＋ビデオ講義）
5	第2章マーチャンダイジング⑤	発注・物流の基本（＋ビデオ講義）
6	第2章マーチャンダイジング⑥	価格設定の基本（＋ビデオ講義）
7	第2章マーチャンダイジング⑦	在庫管理の基本など（＋ビデオ講義）
8	第5章 販売・経営管理①	販売員の役割の基本（＋ビデオ講義）
9	第5章 販売・経営管理②	販売員の法令知識①（＋ビデオ講義）
10	第5章 販売・経営管理③	販売員の法令知識②（＋ビデオ講義）
11	第5章 販売・経営管理④	小売業の計数管理①（＋ビデオ講義）
12	第5章 販売・経営管理⑤	小売業の計数管理②（＋ビデオ講義）
13	第5章 販売・経営管理⑥	店舗管理の基本①（＋ビデオ講義）
14	第5章 販売・経営管理⑦	店舗管理の基本②（＋ビデオ講義）
15	定期試験	テキストの範囲を中心に出題します

科目名	薬局・薬店実習			担当教員	渋谷 大樹		単位数	1
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	実習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 薬局および薬店研修施設において、調剤事務および調剤請求書作成の流れ、調剤自動機器操作を含めたピッキング実習、ドラッグストア店舗での実務の流れなどを体験するための科目である。								
<b>□授業の目的</b> オリエンテーション及び3日間の薬店実習を通して、学内で学んだ専門知識と実践技術との密接な関連を学びとり、職業観、勤労観を体得することを目的とする。								
<b>□授業の到達目標</b> 調剤事務（ピッキングを含む）及びドラッグストア分野において、研修及び職業体験をすることで、卒業後の就業に役に立つレベルの知識・技術を習得することを到達目標とする。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				40	出席、レポート提出がないと成績がつけられません。 体調管理と、期限までのレポート提出を徹底しましょう。  <b>□学生へのメッセージ</b> 薬店実習を通して、医薬品業界についての理解をより深めましょう。			
試験等	提出物			60				
	作文			-				
	随時試験			-				
	定期試験			-				
	平常の授業状況（ ）			-				
その他（ ）			-					
合計				100%				
<b>□テキスト</b>					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			

**□授業計画**

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	薬店実習オリエンテーション	実習先担当者による実習に関する説明(学内実施)
2		
3		
4	薬店実習	実習先企業における研修（9：30～17：30）
5		
6		
7	薬局実習オリエンテーション	実習先担当者による実習に関する説明(学内実施)
8		
9		
10	薬局実習	実習先企業における研修（9：30～17：30）
11		
12		
13	薬局実習	実習先企業における研修（9：30～17：30）
14		
15		
レポ	レポート作成	

科目名	メイクアップ実技応用 I			担当教員	岩田 弘子		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	ビューティアドバイザーとして14年勤務。その後 JMA 日本メイクアップビ技術検定協会の認定講師となり検定業務、セミナー活動。心と身体を元気にするメイクの力を伝えていきます。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 即実践できる接客のための応用メイクやスピードアップメイクなど、より高度な美容技術を習得するための科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ・実践的なスキンケアテクニック、メイクアップ技術を現場で活かせる ・技術者としての基本的なマナーが身につく								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ・接客に使える実践的なスキンケアテクニック、メイクテクニックを習得 ・技術者としての立ち居振る舞いがきれいになる								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				20	定期試験の結果だけでなく、実習の、スキンケア、メイクのテクニック手順習得のグループでの協力の仕方、取り組み方も評価の対象となります。  <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 技術者としてのマナーを身につけよりワンランクアップした自分になりましょう。 イメージ通りにできる技術の上達に励みましょう。			
試験等	提出物			10				
	レポート							
	随時試験							
	定期試験			50				
	平常の授業状況 ( )			20				
その他 ( )								
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				
日本メイクアップ検定試験 3級、2級								

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	メイクアップの前に	技術者の身だしなみ、テーブルセッティング、スタンス ケープかけ、手指消毒の手順
2	スキンケアテクニック 1	ポイントクレンジング手順、手技
3	スキンケアテクニック 2	全体クレンジング手順、手技
4	スキンケアテクニック 3	化粧水塗布～パッティング手順、手技
5	スキンケアテクニック 4	乳液～下地手順、手技
6	ベースメイクテクニック 1	ベースメイク～ファンデーション手順、手技
7	ベースメイクテクニック 2	パウダーテクニック、手順、手技
8	ベースメイクテクニック 3	チーク、ハイライト、ローライト手順、手技
9	トータルレッスン	スキンケア～ベースメイク
10	ポイントメイク 1	アイブロー基本テクニック、応用
11	ポイントメイク 2	アイシャドウ基本テクニック、応用
12	ポイントメイク 3	リップメイク基本テクニック、応用
13	表現メイク	テーマにあったメイクアップデザイン、ドールメイク
14	表現メイク	テーマに沿ったメイクで表現
15	定期試験	

科目名	メイクアップ実技応用Ⅱ			担当教員	岩田 弘子		単位数	2	
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定	
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件	
実務経験教員	○	実務経験内容	ビューティアドバイザーとして14年勤務。その後JMA日本メイクアップビ技術検定協会の認定講師となり検定業務、セミナー活動。心と身体を元気にするメイクの力を伝えていきます。						
<input type="checkbox"/> 位置付け 即実践できる接客のための応用メイクやスピードアップメイクなど、より高度な美容技術を習得するための科目である。									
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ◆メイクのバリエーションをこなすことにより、技術が上達できる ◆顧客のなりたいイメージを表現できる									
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ◆基本のテクニックの手順と手技を習得する ◆正確な再現力、想像力を高める									
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法				評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況					20	定期試験の結果だけでなく、毎回のメイクバリエーションの取り組み方も評価します			
試験等	提出物				10				
	レポート								
	随時試験								
	定期試験				50				
	平常の授業状況 ( )				20				
その他 ( )									
合計					100%	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 基本のテクニックをふまえた上で、より正確な技術、想像力を養いましょう。 グループワークの取り組み方で人との円滑なコミュニケーションを学び仕事に活かしましょう。			
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ベースメイク基本、応用	肌の質感の演出方法
2	トレンドメイク1	メイクトレンドの研究、実習
3	トレンドメイク2	トレンドの傾向 違うメイクパターン実習
4	ハロウィンメイク1	ハロウィンメイクデザイン 特殊メイク
5	ハロウィンメイク2	ハロウィンキャラクターメイク
6	時代メイク	1960年代メイク
7	時代メイク	1980年代メイク
8	メイクバリエーション1	アイドルメイク研究、実習
9	メイクバリエーション2	キャラクターメイク研究、実習
10	メイクバリエーション3	舞台メイク
11	リクエストメイク	なりたいイメージ研究、実習
12	リクエストメイク	なりたいイメージ研究、実習
13	表現メイク1	テーマ設定、メイクアップデザイン
14	表現メイク2	テーマに沿ったメイク
15	定期試験	

科目名	化粧品の成分学			担当教員	岩田 弘子		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	ビューティアドバイザーとして14年勤務。その後 JMA 日本メイクアップ技術検定協会の認定講師となり検定業務、セミナー活動。心と身体を元気にするメイクの力を伝えていきます。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 化粧品の成分について詳しく学び、数多くある化粧品の違いなどを理解し、肌の特徴やお悩みに合わせた最適な化粧品をアドバイスできることなどを学ぶ科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 化粧品の成分、化粧品ブランドの特徴や流通などを学び、接客に生かせる知識を習得することを目標とする。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>成分の効果、効能を学び、顧客の肌悩みにあった化粧品をアドバイスできる。</li> <li>ブランドの特徴を学ぶことにより顧客の好みのブランドをアドバイスできる。</li> <li>知識検定ベジックの取得を目指す。</li> </ul>								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント 定期試験だけでなく授業態度、出席状況、提出物などを総合的に評価します。			
出席状況				10	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 化粧品の成分など学ぶことにより、身の周りの化粧品に興味を持ち、自分自身の肌悩みも解消できます。学んだ知識を生かして肌悩みのある方に喜ばれる存在になりましょう。			
試験等	提出物			20				
	レポート							
	随時試験							
	定期試験			50				
	平常の授業状況 ( )			20				
その他 ( )								
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト 日本メイクアップ技術検定試験3級2級				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	美容業界の現状、動向	化粧品の現状、動向、知識の必要性
2	スキンケア基礎知識の復習	皮膚の構造、肌トラブル、顔分析
3	メイクの基礎知識の復習	ベースメイク、ポイントメイク理論、知識検定対策
4	化粧品の定義	化粧品の定義について、化粧品と医薬部外品
5	化粧品の構成	化粧品の原料、全成分表示の見方と活用方法
6	化粧品の美容成分	抗酸化、保湿、収れん、抗炎症、紫外線吸収剤などの美容成分
7	医薬部外品の有効成分	美白、抗酸化などの医薬部外品の有効性
8	メイクアップ化粧品の構成	ベースメイクアップ化粧品の成分
9	ポイントメイクアップの構成	ポイントメイクアップの構成
10	化粧品の企画～販売 流通システム	化粧品が市場に出るまでの流れ 化粧品の流通システムと販売チャネル
11	アウトオブブランド	大手化粧品の覆面ブランド
12	百貨店ブランドと専門店ブランド	百貨店ブランドと専門店ブランドの違い
13	ナチュラル化粧品とオーガニック化粧品	ナチュラル化粧品とオーガニック化粧品について理解
14	異業種参入化粧品	異業種が参入している化粧品、コンビニコスメ
15	定期試験	

科目名	手話 I			担当教員	高須 一美		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	手話通訳士としてTV、政見放送、講演会、病院、学校等での通訳業務 20年以上。現場で役立つ技術を指導していきます。					
<b>□位置付け</b> 聴覚障害者とのコミュニケーション方法の一つとして、手話の基本的な技術を身につける科目である。								
<b>□授業の目的</b> 聴覚障がい者のコミュニケーション方法の一つである「手話」の基本的な技術を身に付ける。 聴覚障がいについての理解を深める。								
<b>□授業の到達目標</b> 簡単な会話が手話でできるようになる。 相手の伝えたいことが理解できる（手話が読み取れる）力をつける。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				10	定期試験と授業中の実技を統合して見ていきます。 （手話の基礎技術）  <b>□学生へのメッセージ</b> まず、出席をして下さい。そして一緒に手を動かし、身につけて下さい。ゆっくり一年かけて「学んで良かった」と思える講義を目指します。			
試験等	提出物		—					
	レポート		—					
	随時試験		—					
	定期試験（実技）		80					
	平常の授業状況（授業中実技）		10					
合計				100%				
<b>□テキスト</b>				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				
「新版 今日からはじめるやさしい手話」				「わたしたちの手話 I」 （一財）全日本ろうあ連盟				

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	手話とは何か・挨拶の表現	手話の成立や歴史を知る。挨拶に使う手話表現を学ぶ。
2	名前の表現・地名の表現	学生一人ひとりの名字の表現・地名の手話を学ぶ。
3	指文字（50音）	指文字の表現を学ぶ。
4	聴覚障がいとは	DVDを見て聞こえない世界を考える。
5	人物表現	家族に関する手話を学ぶ。
6	趣味・仕事	自分の趣味を表現する。仕事に関する手話を学ぶ。
7	数詞	数の表現。日付や時間を表現できるようになる。
8	時制について I	曜日の表現を学び、短文を表現する。
9	〃 II	今日、明日、昨日、来週、来年等の表現を身に付ける。
10	疑問詞 I	何、どこ、どちら
11	〃 II	いつ、いくつ、いくら、何故、どうやって
12	歌に手話を付ける	歌に手話を付けて表現してみる。
13	自己紹介	今まで学んだ手話で自己紹介をしてみる。
14	前期のまとめ	試験対策。1～13回目までのまとめ。
15	定期試験	

科目名	手話Ⅱ			担当教員	高須 一美		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	手話通訳士としてTV、政見放送、講演会、病院、学校等での通訳業務20年以上。現場で役立つ技術を指導していきます。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 聴覚障害者とのコミュニケーション方法の一つとして、手話の基本的な技術を身につける科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 前期（手話Ⅰ）で身に付けた技術を基に、テキスト記載の単語や例文を応用して表現できるようになる。 現場で使える手話を身に付ける。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 自然に手話を表現できるようになる。 対人コミュニケーション方法として、実践性の高い技術として身に付ける。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				10	定期試験と授業中の実技を総合して見ていきます。			
試験等	提出物				—	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 毎回、復習をしながら少しずつ積み上げていきましょう。 現場で役立つ手話を一緒に考え、身に付けていきましょう。		
	レポート				—			
	随時試験				—			
	定期試験（実技）				80			
	平常の授業状況（授業中実技）				10			
その他（ ）				—				
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				
「新版 今日からはじめるやさしい手話」				「わたしたちの手話Ⅰ」 （一財）全日本ろうあ連盟				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	前期の復習	夏休み中のブランクを埋めるべく復習
2	職場で使える手話	日常会話として接客に役立つ手話を覚える。
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	災害時の手話	災害が起きた際に役立つ声掛けの手話を学ぶ。
7	単語の数を増やす	知っている単語を増やし、日常会話として表現する。
8	DVDを読み取る	DVDを見て手話を読み取ってみる。
9	〃	〃
10	絵本を手話で	絵本を手話語りできるようになる。
11	〃	〃
12	手話技能検定	手話検定の問題にチャレンジする。
13	〃	〃
14	前期・後期のまとめ	一年間の内容を振り返り試験対策
15	定期試験	

科目名	現場で使える外国語			担当教員	本多 美保子		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<b>□位置付け</b> 海外からのお客さまとスムーズなコミュニケーションを図るための外国語（英語）を学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> 薬局の現場で必要となる英語表現を学びます。OTC 医薬品を扱う薬局でのさまざまな状況を想定し、それぞれの状況に必要な基本語彙とフレーズを習得し、その覚えた語彙とフレーズを実践的に繰り返し使うことで、薬局現場での英語コミュニケーション能力を身に着ける。								
<b>□授業の到達目標</b> 薬局での様々な状況に必要な基本語彙とフレーズを暗記し、また、音声練習を通して、自然に必要な英語表現が口から出てくるようにする。現場に必要な状況にスムーズな対応をするための実践的なトレーニングを通じて基本的なフレーズを身に着ける。さらに、応用した表現にも対応できるようにする。								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				30	・出席し、授業で繰り返しトレーニングすることで必要な表現を身に着けます。つまり、欠席するとそのトレーニングの機会を失います ・定期試験の合格点は授業で学んだことを習得したかの証明となります。試験は、テキストを中心とした範囲で出題します <b>□学生へのメッセージ</b> ・テキストの予習と復習をし、テキストに出てくる表現は完璧に暗記してください ・授業でのペア・グループワークに積極的に取り組みましょう			
試験等	提出物							
	レポート							
	随時試験							
	定期試験（実技）		40					
平常の授業状況（授業中実技）		30						
その他（ ）								
合計				100%				
<b>□テキスト</b> English for Pharmacists 薬学英语の練習帳 萌文書林					<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>			

### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	Helping Customers	授業の目標、概要 / 薬局を訪れたお客様に対応する
2	General Questions	安全な薬の使用にあたり、お客様の健康状態を確認する
3	Directions	添付文書にある用法、用量、注意事項の説明をする
4	Warnings 1	使用上の注意、服用前と服用中、既往歴などの確認をする
5	Warnings 2	副作用の症状、どんな場合に医師や薬剤師に相談するか説明する
6	Allergic Rhinitis	花粉やダニなど、それぞれに適したアレルギー性鼻炎薬を説明する
7	Cold Medicine	のどが痛い、咳がでる、鼻水、鼻づまりなど風邪にまつわる表現
8	Gastrointestinal Medicine	胃酸の出すぎや胃弱による消化不良など、胃のトラブルの表現
9	Antidiarrheal	食べ過ぎ、飲みすぎ、寝冷え、ストレスで起きる下痢止め薬の説明
10	Laxative	便秘による腹痛や不快感の緩和に使用する便秘薬の説明をする
11	Painkiller	頭痛や生理痛による熱や痛みの緩和効果がある鎮痛薬の説明をする
12	Eye Drops	結膜炎や疲れ目など様々な目のトラブルにあった目薬の説明をする
13	Antifungal Medication	水虫やたむしなど皮膚トラブル用の薬の説明をする
14	Anti-inflammatory Painkiller	肩こり、腰痛、筋肉痛などの痛みを使う張り薬の説明をする
15	定期試験	テキストの範囲を中心に出題

科目名	売り場のグラフィックデザイン演習			担当教員	上田 都美江		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	チーフデザイナーの役職にも就き企業のデザイン室に8年勤務。その後デザイン研究所を25年以上主宰。ディスプレイや商品企画デザイン・テレビCM制作の経験をもとに現場で役立つ技能を基礎から教授します。					
<input type="checkbox"/> 位置付け お客さまの視覚心理を理解して売り場での販売促進物やディスプレイを考え、売り上げ増の効果などを学ぶ科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 ・売り場の販促物の重要性を理解し、目的や季節に合ったグラフィックデザインを体得する。 ・画材や素材の知識を基に、実践に向けての技能を身に付ける。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ・職場で生かせる技能を習得することを目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				30	随時試験は授業ごとの制作で判断します。			
試験等	提出物			—	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 楽しく制作をしながら理解していきましょう。			
	レポート			—				
	随時試験			30				
	定期試験（実技）			40				
	平常の授業状況（授業中実技）			—				
その他（ ）			—					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ テーマに応じてその都度指示する。			

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	概論
2	タイポグラフィの応用①	全て実技で課題を制作する
3	タイポグラフィの応用②	〃
4	視覚心理について	〃
5	平面から立体へ	〃
6	季節感の表現方法 ①春	〃
7	季節感の表現方法 ②夏	〃
8	季節感の表現方法 ③秋	〃
9	季節感の表現方法 ④冬	〃
10	素材研究 ①	〃
11	素材研究 ②	〃
12	ポップアップ技法	〃
13	立体ディスプレイ①	〃
14	立体ディスプレイ②	〃
15	定期試験	〃

科目名	介護レクリエーション演習			担当教員	山本 貴子		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	介護福祉士、居宅介護支援専門員として、訪問介護 12 年、居宅介護支援 6 年、看多機等で勤務。社員等への研修に係わる。他経営に携わる。					
<b>□位置付け</b> 介護の基本的な知識、高齢者とのコミュニケーションの方法や支援法、高齢者のレクリエーション（re-creation（再構築）、肉体的・精神的な疲れをいやし元気を取り戻すための運動などの）支援などを学ぶ科目である。								
<b>□授業の目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の基本知識とコミュニケーションの技法を取得し、高齢者のレクリエーション支援方法を学ぶ。</li> <li>・レクリエーション企画・計画・実施・評価までのプロセスを理解できる。</li> <li>・地域社会の自助・公助・共助によるレクリエーションの価値を理解できる。</li> <li>・個人や社会生活でレクリエーションの役割を考察できる</li> </ul>								
<b>□授業の到達目標</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護レクリエーションの意義・役割を習得できる。</li> <li>2. 介護保険制度の基本的知識が獲得できる。</li> <li>3. レクリエーションの企画計画・実施・評価ができるようになる。</li> <li>4. 高齢者への安全管理と対応方法を理解できる。</li> <li>5. 目的の共有により、組織において自らの考え方を伝えられるようになる。</li> </ol>								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本アクティブコミュニティ協会が指定するレクリエーション介護士2級のカリキュラムを履修します。</li> <li>・筆記試験、企画書類課題の合格基準を満たす必要があります。</li> </ul> <b>□学生へのメッセージ</b> 事例を多く取込み授業を進めます。アイスブレイクやグループワークでは楽しく協力し合って参画してください。			
試験等	提出物		—					
	作文		—					
	随時試験		—					
	定期試験		50%					
	平常の授業状況（ ）		—					
	その他（ ）		—					
合計				100%				
<b>□テキスト</b> ・レクリエーション介護士2級公式テキスト				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b> ・一般社団法人日本アクティブコミュニティ協会				

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	授業概要、介護レクの概要	授業概要・評価方法の説明、レクリエーションの意義と役割
2	介護保険制度の基本的知識	介護保険の制度と多職種の種類と役割
3	高齢者・障がい者への支援	高齢者や障がい者のこころと身体の変化及び支援の方法
4	コミュニケーションの意義	多様なコミュニケーションの基本と方法
5	地域社会とレクリエーション	地域社会でおこなわれているレクリエーション
6	アイスブレイク	レクリエーションとアイスブレイクの違い
7	安全への配慮	高齢者への安全管理と準備とハプニング対処方法を習得する
8	レクリエーション企画と計画	企画を整理する6w2h・企画の3原則・アセスメント
9	レクリエーション実行と見直	ホスピタリティと次回企画するために、記録と情報共有
10	レクリエーション制作	集団レクリエーション作成
11	企画発表と提出、開催時の注意	集団レク 協会指定企画書提出の発表 合格60点以上
12	筆記試験	協会指定筆記試験 合格60点以上 公式テキストの持ち込み可
13	レクリエーション企画制作	グループワークで個別レクリエーション企画制作
14	レクリエーション企画制作	グループワークで個別レクリエーション発表と実施
15	レクリエーション制作	レクリエーション制作と振り返り

科目名	病院の仕組みと流れ I			担当教員	内藤 麻紀		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医療事務員として、クリニックにて3年間勤務。実務経験をもとに分かりやすく丁寧に教授する。					
<b>□位置付け</b> 病院の仕組みや診療報酬について理解を深めることを目的としている。								
<b>□授業の目的</b> 日本の医療体制の仕組みや、医療機関の役割、医療機関と調剤薬局の関わりについて理解する。 医療機関の分類とそれぞれの役割分担、病院組織、診療の流れを学ぶ。								
<b>□授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療業界・病院の仕組みと流れが分かる。</li> <li>・調剤報酬で学んだ知識を活かし、診療報酬のレセプト作成に挑戦し、その概要について理解する。</li> </ul>								
<b>□成績評価の方法</b>			評価項目	割合	<b>□成績評価に関するコメント</b>			
出席状況				20	・授業時間数の2/3以上の出席を満たさない場合は失格となり、単位は認定できません。			
試験等	提出物				<b>□学生へのメッセージ</b> ・医療業界全体の構図を知り、保険医療の仕組みにおける調剤薬局の位置づけを理解しましょう。 ・医科の診療報酬の概要について理解し、調剤薬局との違いを把握しましょう。 ・医療に関連する様々な仕事、職種について興味を持ちましょう			
	レポート							
	随時試験							
	定期試験			70				
	平常の授業状況 ( )			10				
その他 ( )								
合計				100%				
<b>□テキスト</b>				<b>□参考図書・資料・参考ホームページ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事務講座スタンダードコース1～3</li> <li>・トレーニングブック・レセプト記載ルール</li> <li>・資料ブック・薬価表</li> </ul>								

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション・医療機関の概要	医療機関の分類・病院の組織
2	医療保険のしくみ	医療保険制度・保険給付・その他の医療制度
3	医療事務の基礎	レセプトの基礎知識・点数算定の原則
4	初診料	算定のルール・加算等
5	再診料	算定のルール・外来管理加算等
6	医学管理等	算定のルール・主な医学管理
7	在宅医療	算定のルール・主な在宅医療
8	投薬	算定のルール・院内処方・院外処方
9	レセプト作成	外来レセプト作成
10	注射①	算定のルール・主な注射料
11	注射②	主な注射料
12	処置③	算定のルール・主な処置料
13	処置④	主な処置料
14	レセプト作成	外来レセプト作成
15	定期試験	

科目名	病院の仕組みと流れ I			担当教員	内藤 麻紀		単位数	2
対象学科	くすり・調剤事務			学年	2年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	関連科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医療事務員として、クリニックにて3年間勤務。実務経験をもとに分かりやすく丁寧に教授する。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 病院の仕組みや診療報酬について理解を深めることを目的としている。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 日本の医療体制の仕組みや、医療機関の役割、医療機関と調剤薬局の関わりについて理解する。医療機関の分類とそれぞれの役割分担、病院組織、診療の流れを学ぶ。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療業界・病院の仕組みと流れが分かる。</li> <li>・調剤報酬で学んだ知識を活かし、診療報酬のレセプト作成に挑戦し、その概要について理解する。</li> </ul>								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法 評価項目			割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント ・授業時間数の2/3以上の出席を満たさない場合は失格となり、単位は認定できません。				
出席状況			20	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ ・医療業界全体の構図を知り、保険医療の仕組みにおける調剤薬局の位置づけを理解しましょう。 ・医科の診療報酬の概要について理解し、調剤薬局との違いを把握しましょう。 ・医療に関連する様々な仕事、職種について興味を持ちましょう				
試験等	提出物							
	レポート							
	随時試験							
	定期試験		70					
	平常の授業状況 ( )		10					
その他 ( )								
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト ・医療事務講座スタンダードコース1～3 ・トレーニングブック・レセプト記載ルール ・資料ブック・薬価表				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

#### □授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	前期授業復習
2	検査①	算定のルール・検体検査
3	検査②	検体検査
4	検査③	生体検査
5	病理診断	病理組織標本作製・細胞診
6	手術①	算定のルール・主な手術料
7	手術②	主な手術料
8	麻酔①	算定のルール・主な麻酔料
9	麻酔②	主な麻酔料
10	画像診断①	算定のルール・エックス線診断料
11	画像診断②	コンピューター断層診断料
12	レセプト作成	外来レセプト作成
13	総復習	
14	試験対策	
15	定期試験	

## **2025 SYLLABUS 講義要項**

発行日 2025年4月1日

発行人 川口 拓也

発行所 学校法人 川口学園

早稲田速記医療福祉専門学校

〒171-8543 東京都豊島区高田3-11-17